

CAM

リモコンエンジンスターター

SMT-11

取扱説明書



はじめに

取り付け

オプションの取り付け

リモコンの使用方法

設定

付録

はじめに	2	リモコンの使用方法	44
安全上のご注意	2	エンジンを開始させる	44
知っておきたいこと	7	エンジンを停止させる	46
梱包内容	9	ドアロック／アンロックの操作方法	47
各部名称	10	オートロック機能について	48
リモコンと純正スマートキーについて	12	クイックドライブ機能について	49
電池交換のしかた	13	オートライトキャンセル機能について	50
電波特性（電波飛距離について）	14	設定	51
スリープ機能について	14	各種設定を変更する	51
取り付け	15	リモコンの音色と音量を切替える	55
取り付けを行う前に	15	付録	56
接続全体図	17	リモコンの ID コードを再登録する	56
車種別ハーネス（別売）を接続する	18	リモコンの ID コードを追加登録する	58
メインユニットへ 16P コネクターを接続する	21	イモビ通信ユニットの取付位置を再設定する	60
初期設定を行う	22	通信周波数切替方法について	62
アンテナユニットの取り付け・配線	25	故障かな？と思ったら	66
動作確認を行う	26	アフターサービスについて	68
初期設定および動作確認対処方法	28	製品仕様	69
動作不良エラー確認表	29	保証書	裏表紙
L 端子配線（任意接続）	31		
各種ハーネス配線の保護	34		
メインユニットの固定方法	35		
オプションの取り付け	36		
対応オプションの接続場所	36		
ドアロック／アンロック配線の接続	38		
オートライトキャンセル配線の接続	40		
ドア検出線の接続	42		

公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。また公道以外でも地域により条例などにより罰則を受ける場合がありますのでご注意ください。

※公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。

はじめに

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するため、必ずお守りください。

また注意事項は誤った取扱いをした時に生じる危害や損害の程度を、「警告」、「注意」の2つに区分して、説明しています。

 **警告** この表示は「使用者が死亡や重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。

 **注意** この表示は、「使用者が傷害や物的損害を被る可能性が想定される内容」を示しています。

本書で使用している記号について



この記号は、してはいけない「禁止」内容を示しています。



この記号は、しなければならない「強制」内容を示しています。



この記号は、気をつけて頂きたい「注意」内容を示しています。

⇒ PXX

参照先を記載しています。(XX はページ)



お知らせ

本製品に関する補足情報を説明しています。

オプション

別途別売品が必要なことを表します。

取り付けについて

警告



本製品のハーネスから他の電装品の電源や ACC 電源を取らないでください。車両故障や車両ヒューズ切れ、本製品の故障および動作不良の原因となります。



車両ハーネスコネクタ形状が異なる場合や割り込み接続ができない場合は、直接接続等無理に接続を行わないでください。車両故障の原因となります。



本製品は運転や視界の妨げにならない場所、また車両の機能（ブレーキやハンドルなど）の妨げにならない場所に取り付けてください。事故や怪我の原因となります。

 警告

取り付けは必ずバッテリーを外した状態で行ってください。また、バッテリーの取り外し、取り付けをする際、バッテリー固定金具やバッテリー端子取り付け用ナットは工具を使ってしっかりと締め付けて固定してください。不適切な取り付けを行うと車両火災の原因になります。



安全上、エアバッグのコネクターは絶対に外さないように充分ご注意ください。また、エアバッグ周辺には本製品の取り付けを行わないでください。エアバッグが正常に動作しなかったり、事故や怪我の原因となります。



本製品の各種ハーネスは必ず市販の絶縁テープを巻いて保護してください。各種ハーネスと車両金属部が接触してショートし、メインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体動作不良になる恐れがあります。また絶縁テープを巻いた各種ハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）へ収納する際、狭いスペースのため、各種ハーネスと車両金属部が接触してショートしないようにしっかりと固定し十分に気をつけて取り付けを行ってください。車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車両や車載品の故障、事故等の付随的損害について弊社では一切責任を負いません。



コネクターを接続する際は「カチッ」と音がするまでしっかりとめ込んで下さい。また、各種ハーネスと車両金属部がかみ込まないように取り付けしてください。



マニュアルミッション車には本製品を取り付けしないでください。事故になる危険性があります。



各種ハーネス、コネクターの接続先は、弊社ホームページの車種別接続資料でご確認ください。



取付作業は必ずエンジンが冷めている状態で行ってください。火傷する恐れがあります。



メインユニットの取り付け、接続後は、確実に固定してください。走行中に落下すると、事故や怪我の原因となります。



本製品を水につけたり、水をかけたり、濡れた手で操作しないでください。火災・感電・故障の原因となります。



本製品を分解・改造しないでください。火災、感電、故障の原因となります。



取り付けの安全上、お客様ご自身での取付作業に関するご質問、お問合せ、情報開示、サポート等に関しては一切お答えできませんのでご了承ください。

はじめに

⚠ 注意



ターボタイマーやセキュリティシステムなどの併用取り付けはできません。



本製品はプッシュスタートシステム車専用となります。

本製品のご使用について

⚠ 警告



植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器の機器を装着されている方は、それらの機器の約 22cm 以内の範囲に本製品のリモコンを近づけないようにしてください



アイドリングの直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。



ボディカバーを掛けたままの状態で使用しないでください。排気ガス中毒や火災の原因となります。



排気ガス中毒の危険性があるため、換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。



燃えやすい物の近くでは使用しないでください。火災の原因となります。



マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しないでください。排気ガスが車内に充満し大変危険です。



お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。車内は通常通りエンジン始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。



リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。



本製品が万一破損・故障した場合は、すぐに使用を中止して販売店へ点検・修理を依頼してください。そのまま使用すると火災・感電・お車の故障の原因となります。



穴やすき間にピンや針金を入れないでください。感電や故障の原因となります。

⚠ 警告

-  異物が入ったり、煙が出ている、変な臭いがあるなど異常な状態では使用しないでください。発火して火災の原因となります。
-  濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。
-  暴走事故を防止するため、プッシュスイッチを OFF にする時は AT シフトレバーを **P**（パーキング）に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてください。
-  車両の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。
-  車検や整備などで車両を第三者に預ける時は、思わぬ事故を引き起こさないようにリモコンの電池を抜いてください。
-  本製品を使用中、万が一車両盗難や車上荒らし等の被害が発生しても弊社では一切責任を負いません。あらかじめご了承ください。

⚠ 注意

-  本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
This product is for use only in Japan.
-  リモコンのケースやアンテナを手などで包み込んで使用しないでください。電波の飛距離が短くなります。
-  本製品作動中は、車両の仕様上スマートエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックが作動しません。
-  本製品作動中は、オートポジションステアリングおよびドライビングポジショニングシステムが作動しないことがあります。
-  公道でエンジンをかけたまま車両を無人で放置すると、道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。また公道以外でも地域により条例などにより罰則を受ける場合がありますのでご注意ください。
※ 公道とは、公共施設・スーパー・月極等の駐車場や河川敷・神社の境内等、不特定多数の車が出入りできる場所を含みます。
-  一部車両にてエンジンスターター作動中、エアコンなどの電装品が使用できない場合がありますが、故障ではありません。

はじめに

⚠ 注意



本製品のリモコンの防水性能は IPX4 相当の生活防水で、完全防水ではありません。できるだけ雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。リモコン内部の水濡れシールが反応していた場合、修理できない場合があります。

※急激な温度変化による結露や汗をかいた手で触ったり、ポケット等に入れた状態で雨や汗による蒸れ等によっても内部に水分が浸透する恐れがありますのでご注意ください。



本製品は精密な電子部品で構成されており、下記のようなお取扱いをすると破損、故障の原因となります。

- ・本体に静電気や電気ノイズが加わった場合。
- ・本体を水に濡らしたり、落としたり、強い衝撃を与えた場合。



メインユニットやハーネスなどの各端子に異物が入ると故障の原因となりますのでご注意ください。



リモコンにセットされた電池はテスト用の電池です。お早めに新品の電池と交換してください。



長期間使用しない場合、リモコンから電池を取り外して保管してください。電池が液漏れを起こし、リモコンが故障する恐れがあります。



指定以外の電池を使用しないでください。また新品と使いかけの電池を同時に使用しないでください。



電池の極性（+ / -）を正しく入れてください。



本製品の故障による代替品の貸出および付随的障害、損害（車両のトラブル、火災、電話代、レンタカー代、作業代、商業損失等）についての補償は弊社では一切行っておりません。

知っておきたいこと

電波法について

- ・ リモコンケース裏面の技術基準適合証明ラベルは剥がさないでください。このラベルを剥がすと技術基準適合機として認められなくなりますので、必ずラベルが貼られた状態で使用してください。
- ・ 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用すると電波法により罰せられることがあります。

プッシュスタートシステム車について

● 本製品でのエンジン始動 ※初期設定およびオプション未接続の場合

- ・ 下記のような場合、本製品でエンジン始動はできません。
 - ・ ドアが開いている状態（車種によってはトランク等も含まれます）
 - ・ フットブレーキが踏まれた状態
 - ・ 室内灯や車幅灯、ヘッドライトが点灯状態
 - ・ 車両のオートライト機能が ON の状態
- ※本製品によるアイドリング中に上記の状態になった場合は、エンジンを停止します。
- ※本製品を使用する場合は車両のオートライト機能を OFF にしてください。
ただし、ドア検出線の接続を行い、オートライトキャンセル機能を使用する場合は除きます。
(⇒ P40)

- ・ 車両に乗り込むときは必ずエンジンが停止します。車を運転する際には手でエンジン始動が必要となります。ただし、クイックドライブ機能を使用している場合は除きます。
- ・ スイッチイルミネーションの点灯中は本製品でエンジン始動することができません。（純正スマートキーを携帯して車両に近づいたり、エンジン停止直後やドア開状態、ドアの開閉直後等）
- ・ イルミネーションコントロール機能（メーター照明の明るさを調整する機能）付きの車両は、イルミネーションの明るさ調整を最大（明るく）にしてください。暗く調整しているとドア開等によるエンジン停止機能が作動しない恐れがあります。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合は別売品 H-904「ドア検出線」の接続を行ってください。
- ・ ハイブリッド車の場合、本製品による始動時は、車両プッシュスイッチで始動した時と同様、エンジンがかからずモーターにより始動する場合があります。

● 純正スマートキーおよびスマートエントリーシステム

- ・ 本製品によるアイドリング中は、車両の仕様上純正スマートキーおよびスマートエントリーシステムによるドアロック / アンロックが動作しなくなります。その場合は純正スマートキー内蔵のメカニカルキーを使用するか、本製品のリモコンでエンジンを停止させてから純正スマートキーでドアロック / アンロック操作を行ってください。
- ・ 本製品でのアイドリング終了後、またはリモコンでのエンジン停止後はドアノブまたはドアノブスイッチでのドアロック / アンロック操作はできません。純正スマートキーでドアロック / アンロック操作を行ってください。
- ・ シートベルト警告灯用のコネクタ等、純正の車両コネクタ類は絶対に外さないでください。本製品でのエンジン始動中に、本製品のドアロック機能が正常に作動しなくなります。

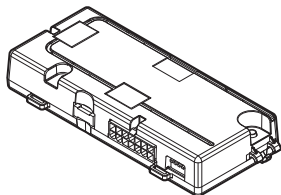
はじめに

● その他

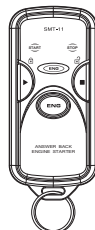
- 本製品でのエンジン始動時、車両のストップランプが数秒間点灯します。
- 本製品でのアイドリング終了後、スイッチイルミネーションが点灯し、自動消灯します。
- 衝突被害軽減ブレーキシステム装備車や、イグニッション ON にてセキュリティ解除となるメーカー純正オートアラーム装備車には取り付けできますが、G-Security 装備車には取り付けできません。オートアラームは、リモコンによるエンジンスタートと同時に解除され誤警報を行いません。なお、アイドリング終了後オートアラームは自動復帰しません。
※純正オートアラームは純正スマートキーによるドアロック / アンロックに連動して設定されるため、純正スマートキーでドアロックした後に本製品でアンロックしドアを開けた場合、警報を行います。
- セキュリティシステムとの連動はできません
- リモコンでエンジン始動の際は必ず純正スマートキーをリモコンのキーリングに取り付けた状態で操作を行ってください。3cm 以上離してリモコンを操作するとエンジンが始動しません。(⇒ P12)
- 純正スマートキーの電池が無くなった場合、リモコンでエンジン始動はできません。電池を交換してからご使用ください。
- オーディオ裏や金属で覆われた場所などにメインユニットを設置しないでください。また熱風や水の掛かる場所には設置しないでください。
- 点検、修理などで本製品を取り外す場合は、必ず車種別ハーネスも同時に取り外し、車両本来の接続状態に戻してください。
- プッシュスイッチ部に金属やメッキのアクセサリー類を装着していると、本製品によるエンジン始動ができない場合があります。その際はアクセサリー類を取り外してください。
- 下記装置は本製品を取り付けると、正常に動作しなくなる場合があります。あらかじめご了承ください。
 - スマートエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックシステム
 - セキュリティシステム
 - オートポジションステアリング&シート
 - オートライトコントロールシステム

梱包内容

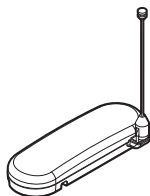
メインユニット (1 個)



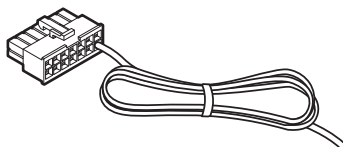
リモコン (1 個)



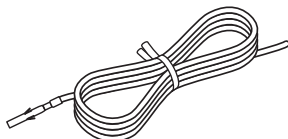
アンテナユニット (1 個)



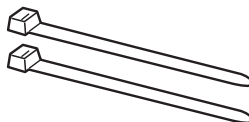
14P コネクター (1 個)



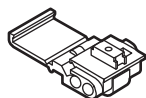
ストップランプ信号線(黄色/ 約 1.7m/1 本)



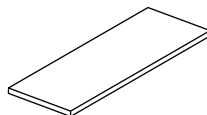
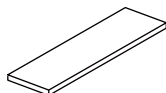
インシュロック (2 本)



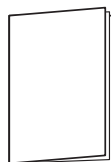
エレクトロタップ (2 個)



メインユニット固定用両面テープ (1 枚)

アンテナユニット固定用
両面テープ (1 枚)

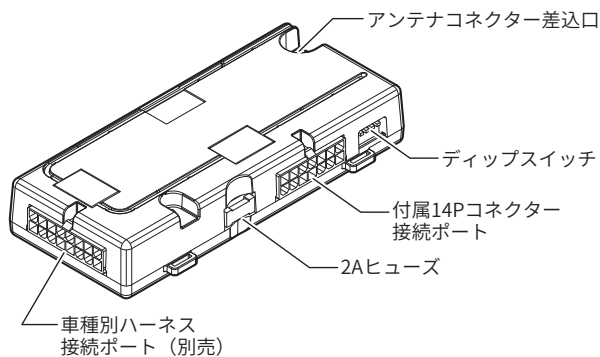
取扱説明書 (本書 / 1 冊)



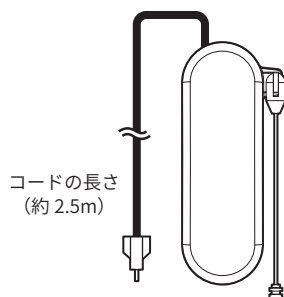
はじめに

各部名称

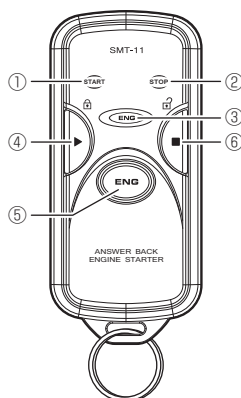
メインユニット



アンテナユニット



リモコン



No.	名 称
①	スタートランプ
②	ストップランプ
③	エンジンランプ
④	スタートスイッチ (▶)
⑤	エンジンスイッチ (ENG)
⑥	ストップスイッチ (■)

※ 電池交換のしかた (⇒ P13)

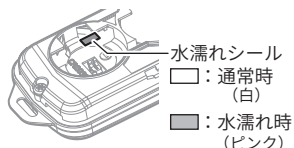
操作方法一覧

作動内容	操作方法
エンジンスタート	[ENG] → [▶]
エンジンストップ	[ENG] → [■]
車両ドアロック (別売品 H-901 ドアロック配線接続時)	[▶] → [▶] または [▶] 2 秒長押し
車両アンロック (別売品 H-901 ドアロック配線接続時)	[■] → [■] または [■] 2 秒長押し

※ 各種設定操作方法については P51 ~ 55 をご確認ください。

お知らせ

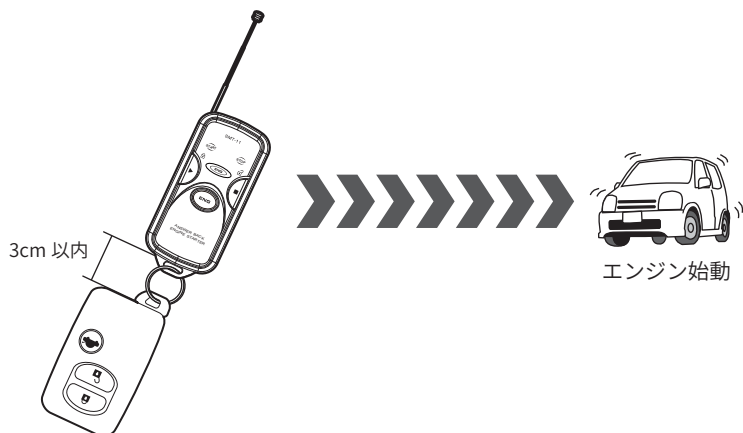
本製品のリモコンの防水性能は IPX4 相当の生活防水で、完全防水ではありません。できるだけ雨、雪、水等のかかる場所や濡れた手での操作は避けてください。リモコン内部の水濡れシールが反応していた場合、修理できない場合があります。



はじめに

リモコンと純正スマートキーについて

- 本製品は純正スマートキーのイモビ信号を本製品のリモコンで送信し、エンジン始動を行うため、必ず純正スマートキーをリモコンのキーリングに取り付けた状態で操作を行ってください。
- 市販のキーホルダーなどを使用して取り付ける場合は、リモコンと純正スマートキーの間隔が 3cm 以上離れないように取り付けを行ってください。



⚠ 注意

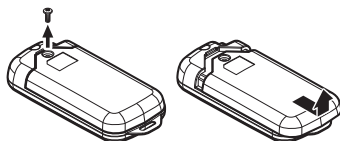
- 本製品のリモコンのみでは車両イモビライザーを解除することができないため、エンジンを始動することはできません。
- 本製品のリモコンと純正スマートキーの距離が 3cm 以上離れた状態で操作すると、イモビライザーを解除することができず、エンジン始動できない場合があります。
- 純正スマートキーの電池が消耗して、エンジン始動やドアロック / アンロックができない状態の場合、本製品のリモコンでもエンジン始動することはできません。車両取扱説明書を参照して、スマートキーの電池を交換してください。

電池交換のしかた

電池は下図の手順に従って、+ / - の向きを間違えないように交換してください。

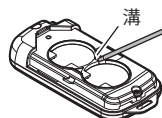
- 1) プラスドライバーでネジを取り外し、電池カバーを矢印の方向へスライドさせ取り外します。

※電池カバーを外す時に、ケースやカバーに傷をつけないよう十分注意してください。



- 2) 右図の溝に細い棒などを入れ、古い電池を取出します。

※無理に電池を外すとツメが折れてしまう場合がありますので注意してください。

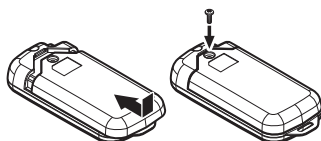


- 3) 新しい電池（CR2032 × 2 個）を、電池の極性 + / - に注意して挿入します。

※ 必ず新しい電池 2 個と交換してください。
新しい電池と古い電池を同時に使用すると液漏れの原因になります。



- 4) 最後に電池カバーを矢印の方向からスライドさせ、ネジを取り付けます。



お知らせ

本製品を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜いて保管することをおすすめします。

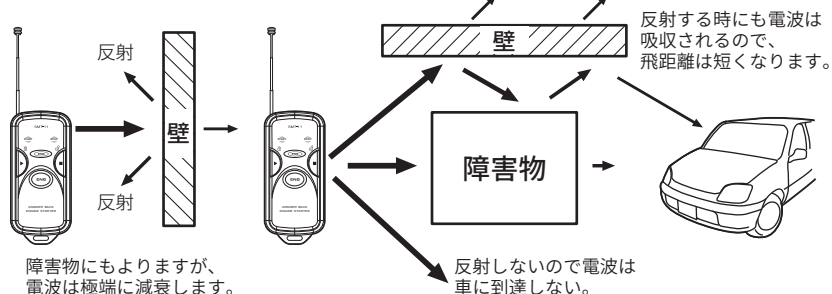
⚠ 注意

- ・ 指定電池（CR2032）以外は使用しないでください。
- ・ 電池寿命の目安は、新品の電池で 1 日 2 回の操作で約半年間です。
※使用する条件によって異なります。
- ・ 工場出荷時はテスト用の電池がセットされているため、電池寿命が約半年間を下回る場合があります。

はじめに

電波特性（電波飛距離について）

- 鉄筋コンクリートの壁や、トタン等電気を通す障害物が車とリモコンの間にあると、極端に通信距離が短くなります。（電波が障害物によって反射する）
- 電波は直進しませんが、ただし反射しながら飛ぶ場合があります。車が直接見えていなくてもまわりに反射できそうな壁・建物等があれば届くことがあります。従って、車との間に障害物があった場合まわりに反射できる壁・建物等がなければ届きません。



- リモコンを操作する時は、電波送受信の安定性を確保するために下記のように操作してください。
- アンテナ部に触れた状態で操作すると、著しく通信距離を縮めますのでご注意ください。



- アンテナを伸ばさずに操作すると通信距離が短くなります。



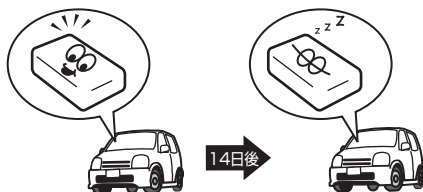
- ケースやアンテナを、手で包み込まないよう操作してください。



- リモコンは垂直に立てて操作してください。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本製品によるエンジン始動はできません。**スリープ機能を解除する時は、1度手動でエンジンを始動させてください。**



本製品を長期間使用しない時は、リモコンの電池を抜くことをお勧めします。

取り付けを行う前に

⚠ 注意

取り付けには専門知識が必要です。取り付けはお買い上げの販売店またはカーディーラー等にご依頼ください。お客様ご自身で取り付けられた場合は、保証が受けられません。

安全のため取り付ける前に下記の点に注意して、本製品の取り付けを行ってください。

取り付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
 - ・ドライバー（＋）
 - ・ニッパー
 - ・絶縁テープ
 - ・プライヤー
 - ・スパナまたはボックスレンチ
 - ・保護テープ
- ※ その他の工具が必要になる場合があります。

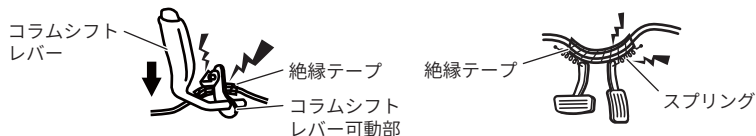
シフトレバーとパーキングブレーキについて

シフトレバーを P（パーキング）にして、パーキングブレーキを確実にかけ、車両電源を OFF にします。



配線について

ダッシュボード内（コラムカバー内など）へ収納する際、各種ハーネスが車両金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板など）と接触してショートしないように注意してください。接続ハーネスのヒューズ切れ、メインユニット故障、車両ヒューズ切れなど本体の動作不良となります。必ず市販の絶縁テープを巻いて保護し、取り付けを行ってください。

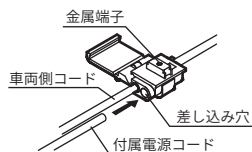


取り付け

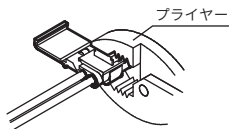
💡お知らせ

エレクトロタップを使った接続方法

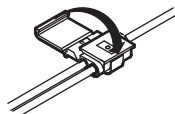
- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。



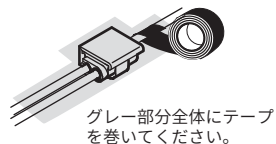
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押込みます。



- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。

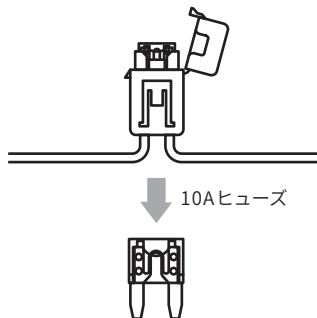


- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。

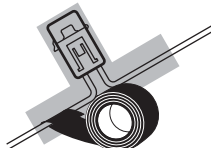


ヒューズ交換方法

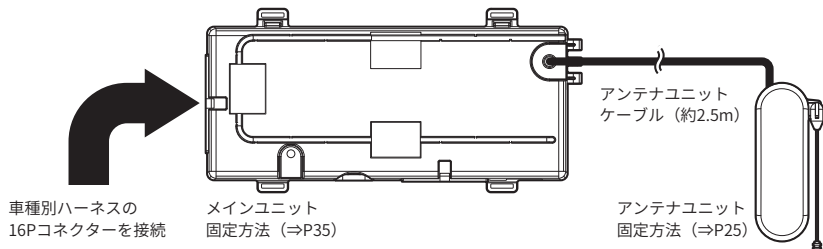
車両接続ケーブルのヒューズホルダーのキャップを開け、同じ容量、サイズのヒューズ(10A)と交換してください。また、初回取り付け時やヒューズを交換した後は必ず絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。



初回取り付け時またはヒューズ交換後、絶縁テープでヒューズホルダーを保護してください。

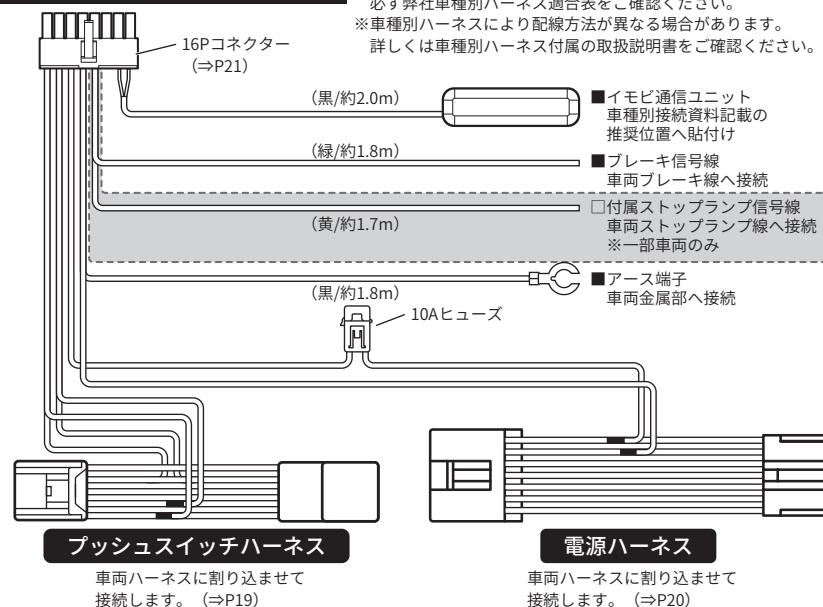


接続全体図



車種別ハーネス H-101の場合

※車両により車種別ハーネスは異なります。
必ず弊社車種別ハーネス適合表をご確認ください。
※車種別ハーネスにより配線方法が異なる場合があります。
詳しくは車種別ハーネス付属の取扱説明書をご確認ください。



⚠ 注意

- ・詳細な接続先は必ず弊社ホームページ車種別ハーネス適合表内の「車種別接続資料」をご参照ください。本書では接続先の案内のみとなります。
- 車種別ハーネス適合表 <http://www.car-acc-mfg.co.jp/tekigou/>
- ・アース端子(黒コード)を塗装されていないボディまたは塗装部を削ったボディ、フレームのビスへ確実に取り付けされていない場合、メインユニットに電源が入らず初期設定および動作確認(⇒P22～27)ができませんのでご注意ください。



適合表はこちら

取り付け

車種別ハーネス（別売）を接続する

車両バッテリーについて

取り付けを行う前に必ず車両のバッテリー $\ominus$ （マイナス端子）を外した状態で取り付けを行ってください。



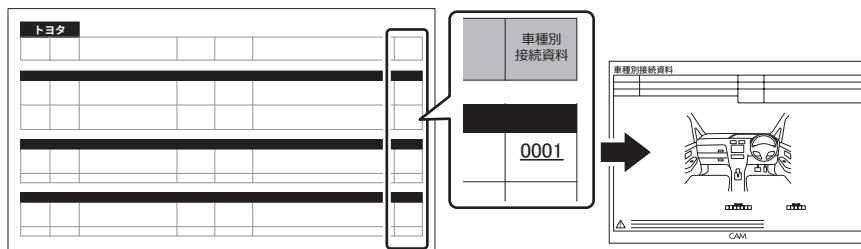
⚠ 注意

- ・バッテリーを外すとオーディオ・ナビゲーション・時計などがリセットされます。
- ・ナビゲーションにパスワードが設定されている場合は、パスワードを解除してからバッテリーを外してください。解除しないとバッテリーを接続した時にパスワードを入力する必要があり、パスワードがわからないとナビゲーションが使用できなくなります。

各配線の接続先およびディップスイッチ設定を確認する

弊社ホームページ車種別ハーネス適合表内の「車種別接続資料」で車両配線への接続先およびディップスイッチ設定を確認します。

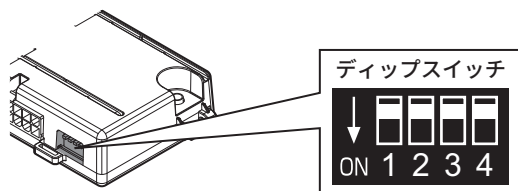
■ 車種別接続資料の開き方



※適合表右端 4 桁の番号を選択すると、【車種別接続資料】が開くので、取り付けする車両の番号を選択してください。

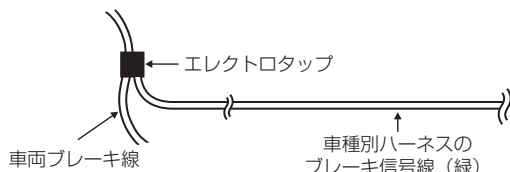
メインユニットのディップスイッチを設定する

メインユニットのディップスイッチを車種別接続資料に記載の設定内容に設定します。



ブレーキ信号線を接続する

車種別ハーネスのブレーキ信号線を、車両へ接続してください。

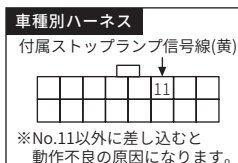
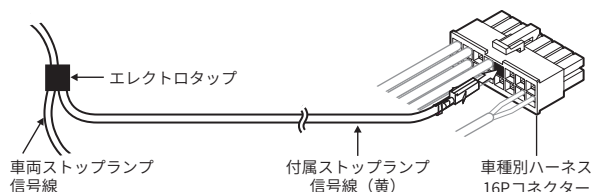


ストップランプ信号線を接続する※一部車両のみ

付属ストップランプ信号線を車両へ接続し、**車種別ハーネス 16P コネクターの No.11** にしっかり差し込んでください。

※車種別接続資料に記載のない車両は接続する必要ありません。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



プッシュスイッチハーネスを接続する

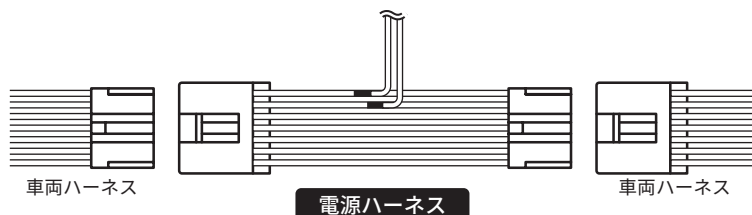
車両のプッシュスイッチコネクター（プッシュスイッチ裏側）にプッシュスイッチハーネスを割り込ませて接続してください。



取り付け

電源ハーネスを接続する

車種別接続資料記載のコネクターへ電源ハーネスを割り込ませて接続してください。

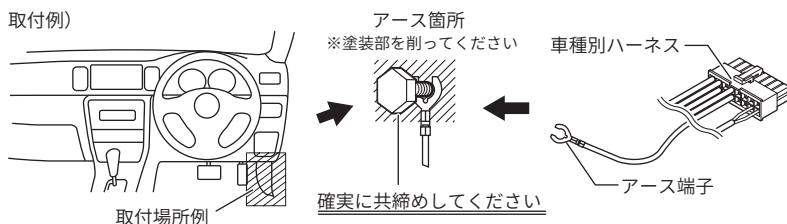


アース端子を取り付ける

車種別ハーネスのアース端子（黒コード）を、塗装されていないボディや塗装部を削ったボディ、フレームのビスなどへ確実に共締めしてください。

※塗装されたボディに取り付けると、アースが不安定になり動作不良の原因となります。アースは正しく取り付けてください。

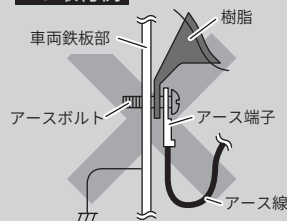
取付例)



⚠ 注意

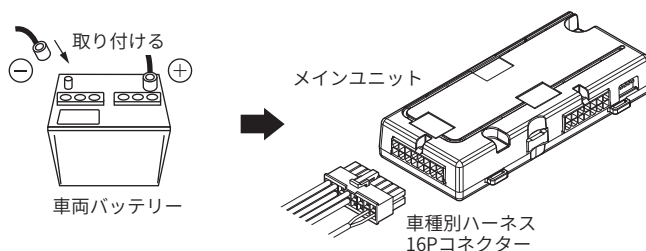
- ・アースボルトとアース端子の間に樹脂などを挟んでいる（右図）と初期設定および動作確認が行えないため、車両鉄板部に確実に共締めしてください。
- ・取付手順通り（⇒ P18～21）に接続を行わないとメインユニットから接続確認メロディ音が鳴らない場合があります。初期設定および動作確認を行なうことができません。必ず取り付け手順に従って取り付けを行ってください。
- ・オーディオやナビゲーションなど、他の電装品と同じボルトにアースを取り付けしないでください。本製品の動作不良やオーディオのメモリーが消失したりします。

NG 取付例

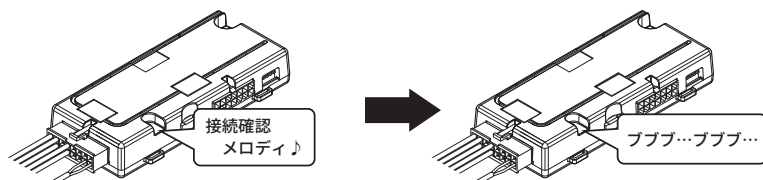


メインユニットへ 16P コネクターを接続する

- 1) 外した車両のバッテリー⊖（マイナス端子）を接続後、車種別ハーネスの 16P コネクターをメインユニットにしっかりと差し込んでください。



- 2) 車種別ハーネスの 16P コネクターをメインユニットに接続すると、メインユニットから接続確認メロディ音が鳴り、その後「ブブブ…ブブブ…」とブザー音が鳴りはじめます。



取り付け

初期設定を行う

〈重要〉初期設定を行わないと本製品は作動しません。

■事前確認事項

- ・取り付けおよび接続後（⇒P18～21）、接続確認メロディ音を確認してから、必ず下記の初期設定を行ってください。
- ・初期設定前に安全のため、必ずパーキングブレーキをかけてください。
- ・初期設定を行うまで各種確認音「ブブブ…ブブブ…」、「ドレミ…ドレミ…」、「ピロリ…ピロリ…」のブザー音は鳴り続けます。
- ※ 車両バッテリーの交換や、本製品の付替えなどで、車両バッテリーや車種別ハーネスを取り外した場合は必ず下記の『初期設定手順』を行ってください。
- ※ リモコン操作を行ってもメインユニットからエラー音が鳴らず、全くメインユニットが反応しない場合は『リモコンのIDコードを再登録する』（⇒P56）を行ってください

1. イモビ通信ユニットの取付位置を設定する

- ・本製品はイモビ通信ユニットと車両イモビライザーが通信し、エンジンを始動させるため、イモビ通信ユニットの取付位置によっては通信が正常に行えず、エンジンを始動できない場合があります。
- ・メインユニットからのブザー音でイモビ通信ユニットと車両イモビライザーが正常に通信を行えることを確認のうえ、イモビ通信ユニットを固定してください。
- ・取付位置の設定を行う際は、純正スマートキーを車外に置いた状態で行ってください。

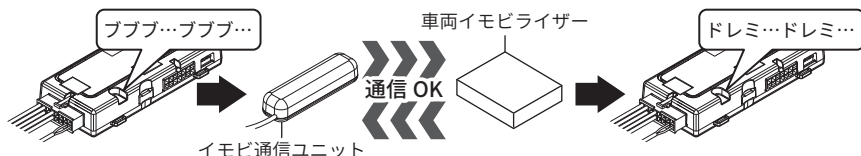
- 1) 弊社ホームページ車種別ハーネス適合表内の「車種別接続資料」に記載の「イモビ通信ユニット固定位置」を確認します。

■車種別ハーネス適合表 <http://www.car-acc-mfg.co.jp/tekigou/>



適合表はこちら

- 2) イモビ通信ユニットが車両イモビライザーと正常に通信が行えると、メインユニットのブザー音「ブブブ…ブブブ…」が「ドレミ…ドレミ…」と切替わります。



💡お知らせ

一部車両で一定時間経過することでイモビライザーの電波が停止する車両があります。その際は、車両ドアの開閉を行うことで再度イモビライザーの電波が発信を始めるため、弊社車種別接続資料で指定の位置にイモビ通信ユニットを置いてブザー音が「ドレミ…ドレミ…」に切替わらない場合、ドアの開閉をお試しください。

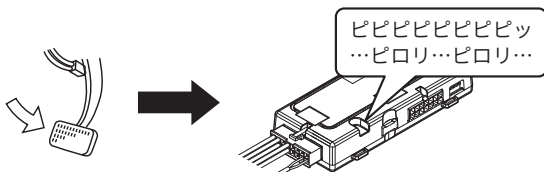
- 3) 車種別ハーネス付属のイモビ通信ユニット
ト固定用両面テープをイモビ通信ユニット
ト本体裏の  部に貼り、メインユ
ニットのブザー音が「ドレミ…ドレミ…」
と鳴る位置へ固定してください。

イモビ通信ユニット裏側



イモビ通信ユニット
固定用両面テープ

- 4) イモビ通信ユニットを固定後、フットブレーキを踏むことで取付位置を
設定します。設定後、正常に車両イモビライザーとの通信が行えること
が確認されると、メインユニットのブザー音「ドレミ…ドレミ…」が「ピ
ピピピピピッ」となった後に「ピロリ…ピロリ…」と切替わります。



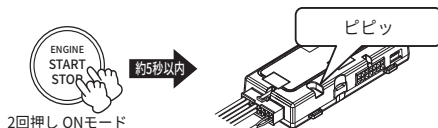
お知らせ

フットブレーキを踏んだ際に、車両イモビライザーと正常に通信ができなかった場合、
メインユニットからブザー音「ブー」が鳴ります。
フットブレーキを踏んでも変化しない場合、ブレーキ信号線の接続を確認してください。

2. 各配線の接続確認を行う

純正スマートキーを車内に持ち込み以下の操作を行い、各配線の接続確認を
行ってください。

- 1) プッシュスイッチを2回押し、車両電源を ON にします。



Q: この時、メーターパネル等の電源が ON になり、メインユニットのブ
ザー音が 5 秒以内に「ピピッ」と鳴りますか？

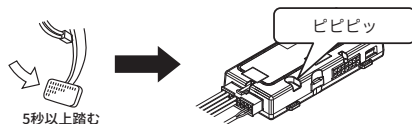


P28



取り付け

- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 に、フットブレーキを 5 秒以上 踏みます。



Q: この時、メインユニットのブザー音が「ビビビッ」と鳴りますか？



- 3) 2) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 に、フットブレーキを踏みながらプッシュスイッチを押しエンジンを始動します。



Q: この時、メインユニットのブザー音が 5 秒以内 に「ピーピーピッ」と鳴りますか？

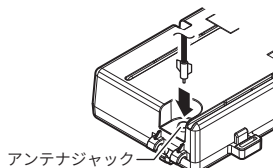


- 4) プッシュスイッチを押し、エンジンを停止し、初期設定終了です。



アンテナユニットの取り付け・配線

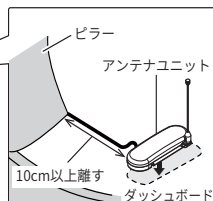
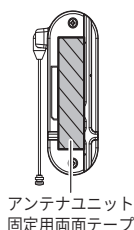
- 1) アンテナコードの端子をメインユニットのアンテナジャックに差込みます。



- 2) 付属のアンテナユニット固定用両面テープをアンテナユニット本体裏の  部に貼り、固定してください。

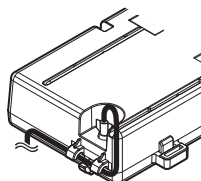
アンテナユニット裏側

◇取り付け例



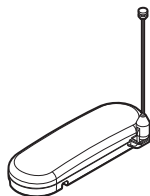
※ピラーから10cm以上離して取り付けを行ってください。
通信距離が短くなるおそれがあります。

- 3) アンテナコードをメインユニットのコード固定部にしっかりと固定します。



- 4) アンテナユニットのアンテナを立てた状態でご使用ください。

※アンテナを立てていない場合、通信距離が極端に短くなります。



⚠ 注意

- ・アンテナコードは束ねないでください。通信距離が極端に短くなります。
- ・視界の妨げになる場所（運転席／助手席から前のガラス面等）に取り付けしないでください。
- ・エアバッグ（助手席・サイド含む）の展開範囲に影響の無い場所に取り付けてください。
- ・取り付ける際は、あらかじめ汚れや脂分をよく拭き取ってから貼ってください。
- ・アンテナを可変させる場合は必ず根元を持って動かしてください。先端を持って無理に可変させると、アンテナが変形する可能性がありますので十分ご注意ください。

取り付け

動作確認を行う

本製品の『初期設定』(⇒ P22 ~ 24) および『アンテナユニットの取り付け・配線』(⇒ P25) が完了後、下記手順に従い本製品が正常に動作することを確認してください。

⚠ 注意

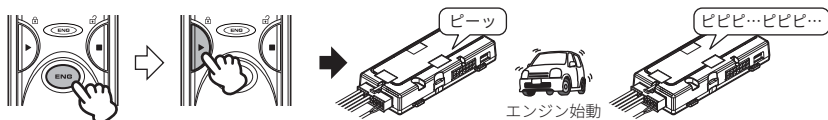
本製品のリモコンでエンジン始動操作を行う際は必ず、純正スマートキーとリモコンを3cm以内に携帯して操作を行ってください。(⇒ P12)

動作確認手順

- 1) すべてのドアを閉め**スイッチイルミネーションが消灯する**の確認し、車から離れた場所(スマートキーによるドアロック/アンロックが行えない程度)へ移動します。



- 2) リモコンのエンジンスイッチを押した後、リモコンのスタートランプ(緑)とストップランプ(赤)が点滅している間にスタートスイッチを押してください。



Q: この時、エンジンが始動しますか？



- 3) アイドリング中にドアを開けてエンジンが停止することを確認してください。

(作動停止エラー音「ブーブブブブッ、ブーブブブブッ」が鳴ります)



Q: この時、エンジンが停止しますか？



P28



- 4) その後車内に入り、全てのドアを閉めてスイッチイルミネーションが消灯するまで待ってから、再度エンジンスターターでエンジン始動し、アイドリング中にフットブレーキを踏んでエンジンが停止することを確認してください。

(フットブレーキ検出エラー音「ブー、ブー」が鳴ります)



Q: この時、エンジンが停止しますか？



P28



全ての動作は正常です

取り付け

初期設定および動作確認対処方法

下記の A ～ F の各対処方法を行った場合は、再度初期設定および動作確認を 1) から行ってください。

A	電源ハーネスは確実に接続されていますか？
B	車種別ハーネスのブレーキ信号線の配線場所が違っていませんか？
C	1. 車種別ハーネスの配線場所が違っていませんか？ (⇒ P19,20) 2. プッシュスイッチハーネスは確実に接続されていますか？ 3. 車両ストップランプのヒューズは切れていませんか？ (フットブレーキを踏んでストップランプが点灯していない状態) →車両ストップランプのヒューズを交換してください。 4. アース端子は確実に接続されていますか？ →アース端子を塗装されていないボディ、または塗装部を削ったボディへしっかり取り付けしてください。(⇒ P20)
D	1. 車両状態がアクセサリモードまたは ON モードの状態ではエンジンスターターでエンジン始動できません。 2. ドアが開いていませんか？ (車種によってはトランク等も含まれます) 3. フットブレーキが踏まれた状態になっていませんか？ 4. 室内灯や車幅灯、ヘッドライトが点灯していませんか？ 5. 車両のオートライト機能(ライト自動点灯 / 消灯機能)が ON になっていませんか？ 6. スイッチイルミネーションが点灯していませんか？ (純正スマートキーを携帯して車両に近づくとスイッチイルミネーションが点灯する車両があります) 7. アイドリング中 (ヘッドライト OFF、ドアを閉めた状態) にスイッチイルミネーションが点灯する車両ではないですか？ →別売品「H-904 ドア検出線」を取り付けてください。(⇒ P42)
E	1. 各種コネクターの接続を確認してください。 2. イルミネーションコントロール機能 (メーター照明の明るさを調整する機能) を暗く調整していませんか？ 一番明るくなるように設定してください。イルミネーションの明るさ調整を最大にできない場合は別売品 H-904 「ドア検出線」配線を行ってください。(⇒ P42) 3. クイックドライブ機能を使用していませんか？ (設定が ON の場合、本製品のリモコンでアンロック後 60 秒以内にドアを開けてもエンジンは停止しません) 4. オートライトキャンセル機能を使用していませんか？ (設定が ON の場合、ドアを開けてもエンジンは停止しません)
F	ブレーキ信号線がしっかり接続されているのを確認してください。

動作不良エラー確認表

メインユニットからのエラー音

メインユニットからのブザー音で、製品の動作状態やエラーを確認できます。

No.	ブザー音	名 称	内容 / 解除方法
1	ブー、ブー ○ ○	フットブレーキ 検出エラー	本製品作動中にフットブレーキを踏んだ時の状態です。解除するには、再度リモコンでスタートさせるか、車両電源を ON にしてください。 対策 ブレーキ信号線の接続を確認してください。(⇒車種別接続資料参照)
2	ブーブブッ、 ○ ○ ○ ブーブブッ ○ ○ ○	リモコン ID 未登録	リモコンで ID コード登録してください。(⇒ P56)
3	ブッブブブー、 ○ ○ ○ ブッブブブー ○ ○ ○	エンジン始動 未検出エラー	純正スマートキーでもエンジン始動できない可能性があります。 対策 純正スマートキーでエンジン始動できる状態にしてからスターターの操作を行ってください。また、すべての配線が接続されているか確認を行ってください。 △注意 外気温が低い時や、バッテリーの状態によってエンジンがかかりにくいことがあります。 ----- 本製品のリモコンや純正スマートキーの電池電圧の低下によってイモビライザーの認証ができていない可能性があります。 対策 本製品のリモコンまたは純正スマートキーの電池交換を行ってください。
4	ブーブブブッ、 ○ ○ ○ ○ ブーブブブッ ○ ○ ○ ○	作動停止 エラー	リモコンでエンジン始動させた時、下記の状態になった場合。 ・ドアが開いている場合（車種によってはトランク等も含まれます） ・室内灯や車幅灯、ヘッドライト点灯時 ・車両のオートライト機能（ライト自動点灯 / 消灯機能）が ON の状態 ・スイッチイルミネーションが点灯中（純正スマートキーを携帯して車両に近づくときスイッチイルミネーションが点灯する車両があります）または本製品によるアイドリング中に上記の状態になった場合。 対策 上記の状態になっていないか確認してください。
5	ブッブブブッ、 ○ ○ ○ ○ ブッブブブッ ○ ○ ○ ○	初期設定 未検出エラー	初期設定ができていない可能性があります。 対策 「初期設定」(⇒ P22 ～ 24) を行ってください。

※ ○は約 0.2 秒を示します。○は約 1 秒を示します。○は約 2 秒を示します。

※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、エンジン停止中にリモコンのエンジンスイッチを押した後、ストップスイッチを押してください。

取り付け

No.	ブザー音	名 称	内容 / 解除方法
6	ブッブッブッブッブッブッ、 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ブッブッブッブッブッブッ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	イモビ解除 エラー	車両イモビライザーが解除できず、エンジンが始動できない状態。 対策 イモビ通信ユニットの取付位置を再設定してください。(⇒ P60 ～ 61)

※ ○は約 0.2 秒を示します。○は約 1 秒を示します。○は約 2 秒を示します。

※ 再度エラーブザー音を確認したい場合は、エンジン停止中にリモコンのエンジンスイッチを押した後、ストップスイッチを押してください。

リモコンからのエラー音

同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、電波が干渉してしまい送信を行えません。その場合、リモコンから「ブッブッ」と音が鳴ります。
その際は、場所を移動してリモコン操作を行ってください。

L 端子配線（任意接続）

本製品には、3 種類（自動検出・L 端子検出・OFF）のエンジン始動検出方法があります。

ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行えますが、一部車種でできない場合があります。

下記のような症状になる場合は、付属 14P コネクターの L 端子検出線（白）の配線を行ってください。

- ・ エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ・ 寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

※ 一部アイドリングストップ車にてご使用される方は必ず L 端子配線を行ってください。

お知らせ

車両によっては車内の配線へ L 端子配線を行う事ができます。詳しくは弊社ホームページ車種別ハーネス適合表内の車種別接続資料をご確認ください。

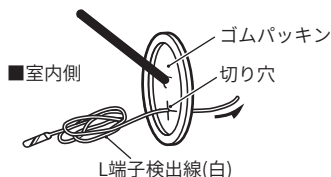
※一部情報の無い車両もあります。

注意

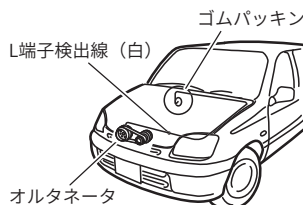
シフトレバーを P（パーキング）にして車両電源を OFF にしてから作業を行ってください。

配線方法

- 1) エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開け L 端子検出線（白）を図の様に室内側から入れてください。



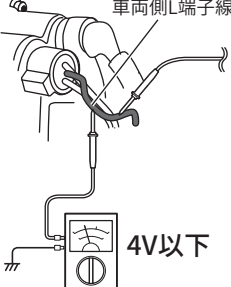
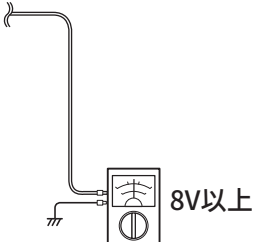
- 2) 車両の L 端子線（オルタネータの所にあります）まで、L 端子検出線（白）を配線してください。



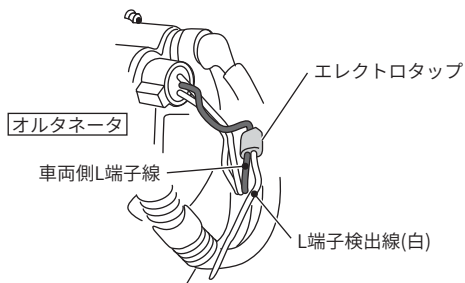
取り付け

3) 車両のオルタネータにある L 端子線を探してください。

車両側 L 端子線の見分け方

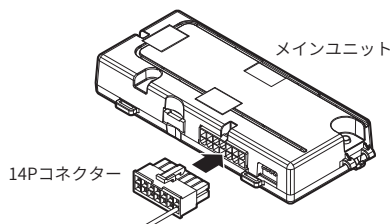
プッシュスイッチ	ON (セルまで回さないで ON で止める)  プッシュスイッチを 2 回押す	ON (セルを回してエンジンをかける)  フットブレーキを踏みながら プッシュスイッチを押す
エンジンの 状態	エンジン停止時 	エンジン始動時 
電圧 ※ 電圧の確認はサー キットテスターで 確認してください。	オルタネータ  車両側 L 端子線 4V 以下  8V 以上	

4) 車両側の L 端子線と L 端子検出線 (白) を付属のエレクトロタップで接続してください。

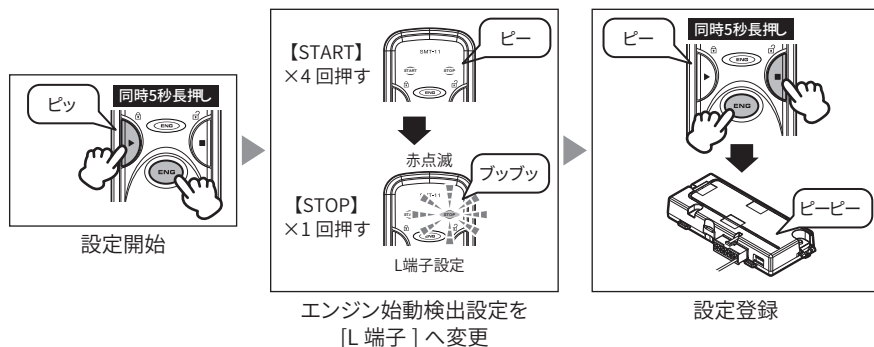


※エレクトロタップの使用方法は (⇒P16)

- 5) メインユニットに 14P コネクターを差し込んでください。



- 6) 14P コネクター接続後、リモコンで [エンジン始動検出設定] を【L 端子】へ変更してください。



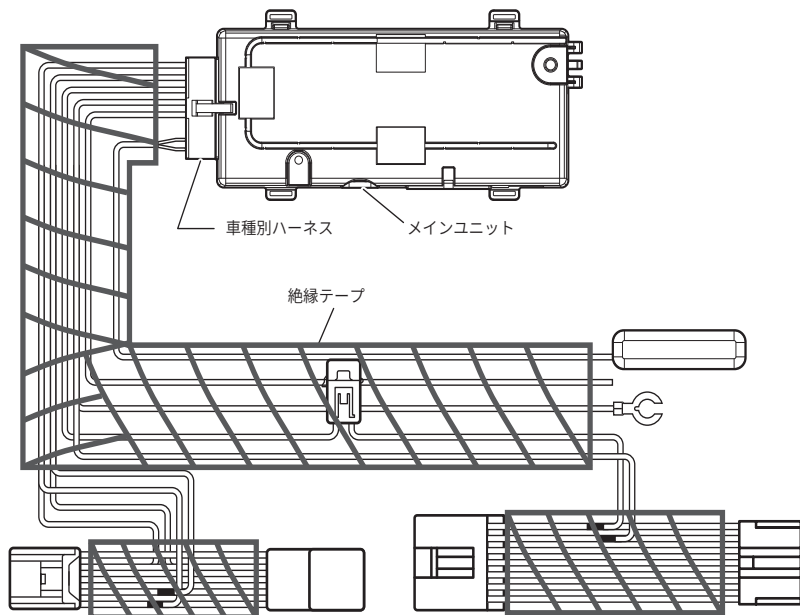
取り付け

各種ハーネス配線の保護

全ての動作が正常と確認できたら、各種ハーネスに絶縁テープを巻いて、ハーネスの保護を必ず行ってください。

各種ハーネスの保護について

- ・車種別ハーネスに必ず市販の絶縁テープを巻いて、保護をしてください。
- ・各種ハーネスがコラムシフトやステアリング可動部などと接触してショートし、メインユニットのヒューズ切れやメインユニットの故障、車両ヒューズ切れなどの本体の動作不良になる恐れがあります。
- ・また、絶縁テープを巻いたハーネスをダッシュボード内（コラムカバー内等）に収納する際、振動でハーネスが擦れないよう確実に固定をし、各種ハーネスと車両金属部がショートしないよう気を付けて収めてください。



⚠ 注意

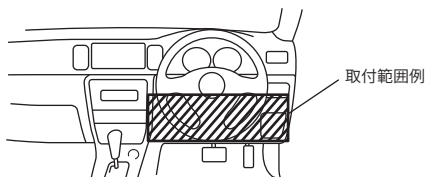
各種ハーネスと車両金属部の接触によるショートが原因の本体動作不良または車種別ハーネスの加工等、車両故障に関しては弊社では一切責任を負いません。

メインユニットの固定方法

⚠ 注意

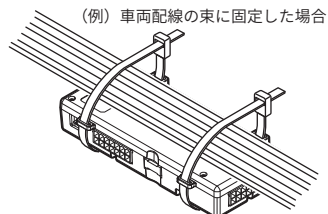
- ・メインユニットの取付固定を行う前に、初期設定を行ってください。
(⇒ P22 ~ 24)
- ・エアコンやヒーター等の熱風または水滴を受ける場所・直射日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取り付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックや両面テープ等でしっかりと固定してください。(ダッシュボード内側等)



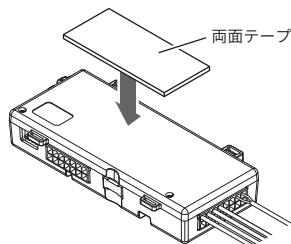
◆インシュロックを使用して車両に固定する場合

ダッシュボード内の車両配線の束等に固定します。

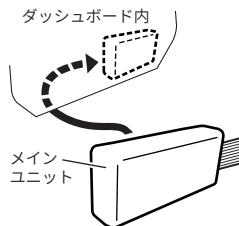


◆両面テープを使用して車両に固定する場合

メインユニット裏側に付属の両面テープを貼ります。



メインユニットをダッシュボード内の平らな場所に貼ります。



※ 一度貼り付けた後、車両から剥がすと両面テープの粘着力が極端に落ちます。

オプションの取り付け

対応オプションの接続場所

本製品には下記オプションのみ取り付けることができます。

■ H-901 ドアロック配線

本製品のリモコンでドアロック / アンロック操作を行うことができます。
(⇒ P38,39)

■ H-902 ドアロックアダプター

本製品のリモコンでドアロック / アンロック操作を行うことができます。
(⇒ P38,39)

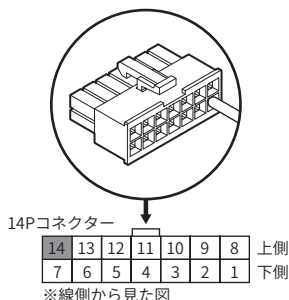
■ H-903 オプション配線

車両のオートライト機能を使用時でも、エンジン停止後にヘッドライトを正常に消灯させることができます。(⇒ P40,41)

■ H-904 ドア検出線

ドアの開閉を検出してエンジン停止、オートロックを解除します。(⇒ P42,43)

※取付車両によってはドア検出線の接続が必ず必要になる場合があります。



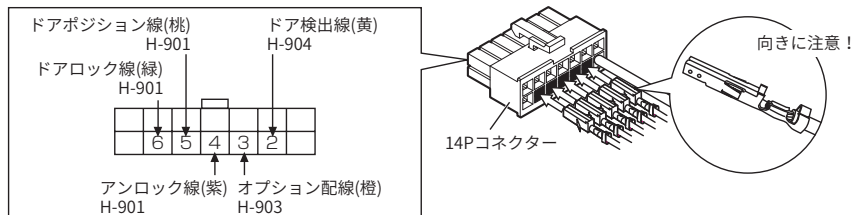
Nº	内容
1	L 端子検出
2	ドア検出線
3	オートライト
4	アンロック
5	ドアポジション
6	ドアロック
7	オプション 1

Nº	内容
8	オプション 2
9	オプション 3
10	オプション 4
11	オプション 5
12	オプション 6
13	オプション 7
14	未使用

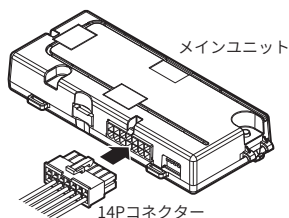
オプション接続方法

1) 14P コネクターに下記図の向きにオプション配線を差し込みます。

※ 一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



2) メインユニットに 14P コネクターを差し込んでください。



オプションの取り付け

ドアロック / アンロック配線の接続 オプション

車両へドアロック / アンロック配線を行うことで、本製品のリモコンで車両のドアロック / アンロックを行うことができます。(操作方法は⇒ P47)

- ※ 別売品 H-901 ドアロック配線が必要になります。また H-902 ドアロックアダプターも併せて必要になる車種がありますので、必ず車種別ハーネス適合表でご確認ください。
- ※ 車両によってはドアロック機能が使用できないことがあります。車種別ハーネス適合表で確認してください。

⚠ 注意

- ・本製品によるアイドリング中は、純正のキーレスエントリーが作動しません。
- ・シートベルト警告灯用のコネクター等、純正の車両コネクター類は絶対に外さないください。本製品でのエンジン始動中に、本製品のドアロック機能が正常に作動しなくなります。
- ・純正オートアラームは純正スマートキーによるドアロック / アンロックに連動して設定されるため、純正スマートキーでドアロックした後に本製品でアンロックしドアを開けた場合、警報を行います。

接続方法について

車種によりドアロック接続方法は異なります。

- ・H-901 ドアロック配線のみで作動するタイプ
- ・H-901 ドアロック配線および H-902 ドアロックアダプターの両方が必要なタイプ

詳しくは、弊社ホームページの車種別ハーネス適合表および車種別接続資料をご確認ください。

■車種別ハーネス適合表 <http://www.car-acc-mfg.co.jp/tekigou/>

適合表はQRコードから
確認することもできます。

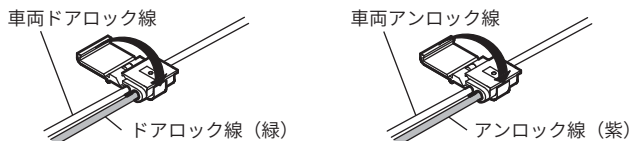


💡お知らせ

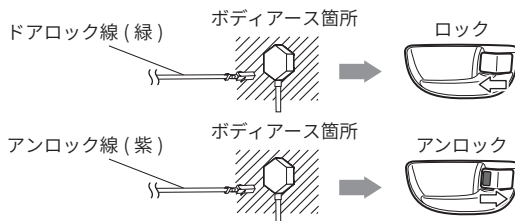
本書では H-901 のみで作動するタイプの車両への接続方法を説明します。
H-901 および H-902 が必要なタイプの車両に関しては、H-902 ドアロックアダプターに付属の取扱説明書を参照し、接続を行ってください。

接続方法

- 1) ドアロック (緑) / アンロック線 (紫) の圧着端子部 (ギボシオス端子) を切断し、車種別接続資料に記載の車両側ドアロック線 / アンロック線にそれぞれエレクトロタップで接続します。



- 2) エレクトロタップで接続後、必ず H-901 ドアロック配線の端子部を**ボディアースに接触させ**、ドアロック / アンロックが正常に作動するか確認します。

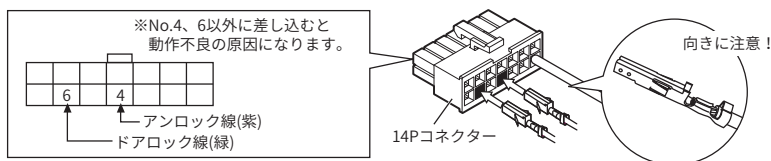


- 3) 14P コネクターの差し込み番号を確認後、下記のようにしっかり差し込んでください。

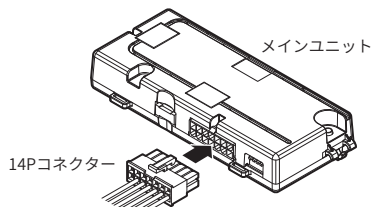
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

N0.4 → アンロック線 (紫)

N0.6 → ドアロック線 (緑)



- 4) メインユニットに 14P コネクターを差し込んでください。



- 5) 14P コネクターを接続後、再度初期設定を行ってください。(⇒ P22 ~ 24)

オプションの取り付け

オートライトキャンセル配線の接続

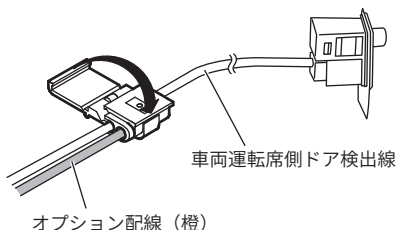
オプション

- オートライトキャンセル機能 (⇒ P50) を ON に設定すると、車両のオートライト機能が ON の場合でもエンジン始動が可能になります。
- 運転席ドアのドア検出線と本製品を接続することで、車両のオートライト機能使用時、エンジン停止後にヘッドライトを消灯する事ができるようになります。
※別売品 H-903 オプション配線が必要です。
※H-903 オプション配線は、オプション H-901 ドアロック配線に付属の青色線・桃色線でも代用可能です。
- オートライトキャンセル機能を ON にする場合、防犯上ドア検出線 (⇒ P40 ~ 43) の接続をおすすめします。
※別売品 H-904 ドア検出線が必要です。

接続方法

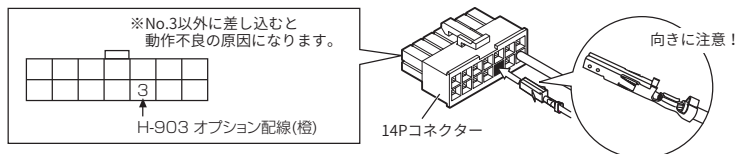
- 1) オプション配線 (橙) を 車種別接続資料に記載の車両運転席側ドア検出線 にエレクトロタップで接続します。

※運転席側以外のドア検出線に接続した場合は正常に作動しません。

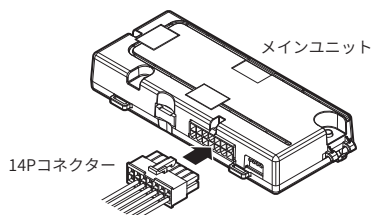


- 2) 14P コネクターの No.3 にオプション配線 (橙) をしっかり差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



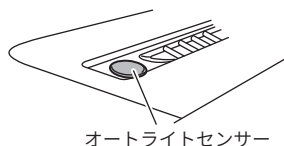
- 3) メインユニットに 14P コネクターを差し込んでください。



- 4) 下記手順で動作確認を行ってください。

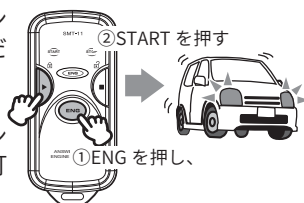
1. 車両のオートライト機能を ON (AUTO) に設定します。

2. ダッシュボード上やフロントガラスなどにあるオートライトセンサーを探し、センサーが反応するようにシートなどで覆って暗くしてください。

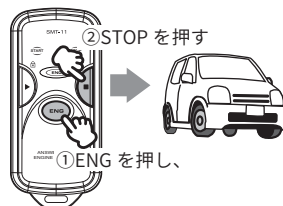


3. エンジンスターターのオートライトキャンセル機能 (⇒ P53) を ON に設定してください。

4. エンジンスターターのリモコンでエンジンを始動 (⇒ P44) し、ヘッドライトが点灯することを確認してください。



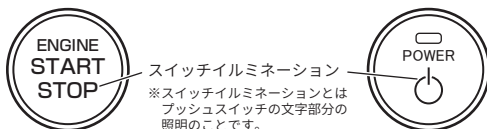
5. エンジンスターターのリモコンでエンジンを停止させてください。(⇒ P46) この時、エンジンが停止し、ヘッドライトが消灯すれば正常です。



オプションの取り付け

ドア検出線の接続 オプション

ドアを閉めヘッドライトを消しエンジンを始動した時に、プッシュスイッチ（下図）のスイッチイルミネーションが点灯したままになる車両は、必ず別売品の「H-904 ドア検出線」を使用してドア検出線の接続を行ってください。配線をしないとスターターのリモコンでエンジンが始動しません。



※ オートロック機能を設定 1 (⇒ P48) にした場合にも必要になります。

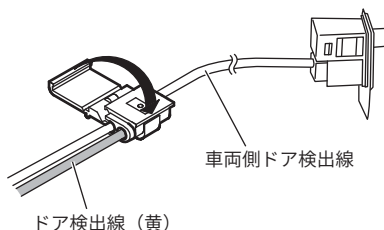
※ ドア検出線接続場所については弊社ホームページ「車種別接続資料」で確認してください。
(一部情報の無い車両もあります)

接続方法

- 1) ドア検出線（黄）を車種別接続資料に記載の各ドアの車両側ドア検出線にエレクトロタップで接続します。

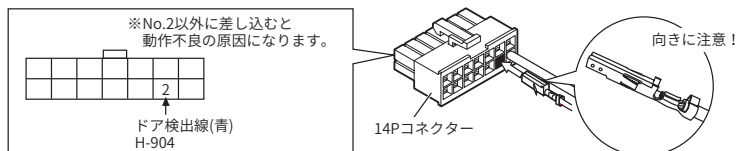
※トランク等の一番遠い箇所に延長線（長い線）を使用してください。

※車種別接続資料に記載の無い車両はカーテシスイッチへ接続してください。

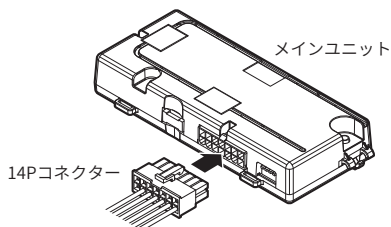


- 2) 14P コネクターのNo.2にドア検出線（黄）をしっかり差し込んでください。

※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

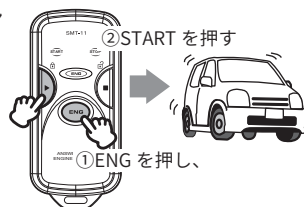


- 3) メインユニットに 14P コネクターを差し込んでください。

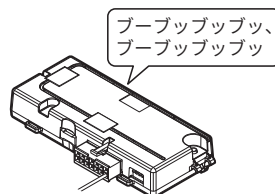


- 4) 下記手順で動作確認を行ってください。

1. エンジンスターターのリモコンでエンジンをかけてください。(⇒ P44)



2. ドア検出線と接続した各ドアを開け、エンジンが停止し、動作不良エラー確認音表 (⇒ P29) の作動停止エラー音が鳴ることを確認します。



リモコンの使用法

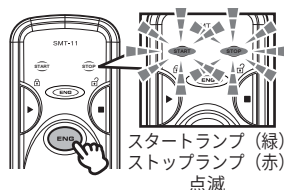
エンジンを始動させる

リモコンで下記の動作を行うとエンジン始動できます。エンジン始動後、設定したアイドリング時間 (⇒ P52) が過ぎると自動的にエンジンを停止します。

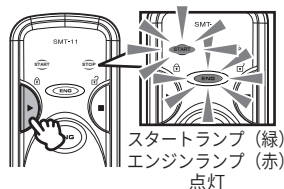
⚠ 注意

- ・本製品のリモコンでエンジン始動操作を行う際は必ず、純正スマートキーを 3cm 以内に携帯して操作を行ってください。(⇒ P12)
- ・リモコンのアンテナを伸ばした状態で操作を行わないと著しく電波飛距離が短くなります。
- ・電池を交換した時はリモコンの LED ランプが点滅・点灯されるか確認してください。
- ・リモコンでエンジンを始動する時に、車両のオートライト機能を「AUTO」にしている場合、エンジン始動と同時にヘッドライトが点灯したままになることがあります。車両のオートライト機能を「OFF」、または別売品 H-903 オプション配線を接続し、オートライトキャンセル機能を ON にしてからリモコンでエンジン始動を行ってください。
- ・同じ周波数帯の電波が周辺に出ている場合は、リモコンから「ブブブブッ」とエラー音が鳴り送信を行う事ができません。

- 1) エンジンスイッチを押し、スタートランプ (緑) とストップランプ (赤) を点滅させます。

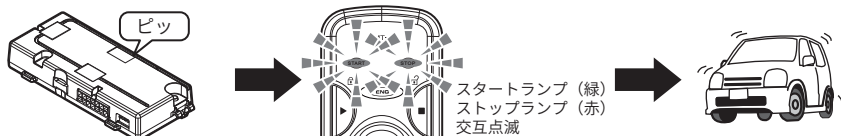


- 2) スタートランプ (緑) とストップランプ (赤) が点滅中にスタートスイッチを押し、スタートランプ (緑) とエンジンランプ (赤) を点灯させます。



- 3) アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、下記のような作動をし、エンジンが始動します。

- ・メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴ります。
- ・リモコンのスタートランプ (緑) とストップランプ (赤) が交互点滅します。

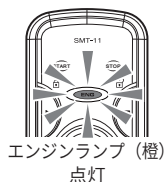


※ アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのスタートランプ (緑) とストップランプ (赤) は交互点滅しません。(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は NG 音が鳴ります)

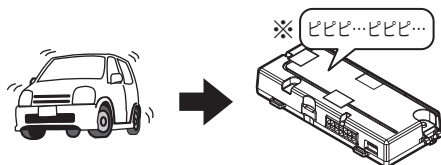
- 4) エンジンが始動すると、アンテナユニットがリモコンへエンジン始動の確認電波（アンサーバック信号）を送ります。

リモコンが電波（アンサーバック信号）を受信すると、リモコンのエンジンランプ（橙）が点灯します。

※一部車両でエンジン始動時の電気ノイズや場所によっては、周囲の電波の影響を受けて、エンジンランプ（橙）が点灯（アンサーバック）しないことがあります。



- 5) エンジン始動後、アイドリングを開始すると、メインユニットからブザー音が「ピピピ…ピピピ…」と連続して鳴ります。



※アイドリング中のブザー音は消音できません。

- 6) アイドリング中にドアを開けるとエンジンが停止しますので、車に乗り手でエンジンを再始動してください。

※ クイックドライブ機能が ON の場合はドアを開けてもエンジンは停止しません。

※ オートライトキャンセル機能が ON の場合はドアを開けてもエンジンは停止しません。ただし、ドア検出線の接続を行った場合、エンジンは停止します。（⇒ P42）

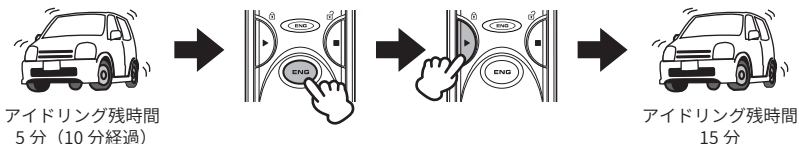


お知らせ

アイドリング時間を延長する

本製品によるアイドリング中に、再度エンジンを始動させる操作（⇒ P44）を行うとアイドリング時間が設定した時間にリセットされ、延長することができます。

例) アイドリング時間を 15 分に設定している場合

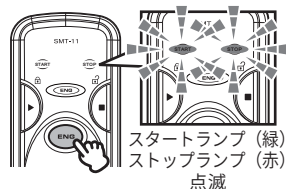


リモコンの使用法

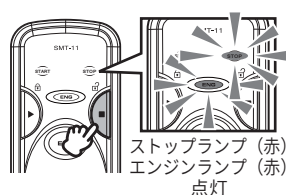
エンジンを停止させる

リモコンでエンジン始動中に下記の動作を行うとエンジンを停止します。

- 1) エンジンスイッチを押し、スタートランプ (緑) とストップランプ (赤) を点滅させます。



- 2) スタートランプ (緑) とストップランプ (赤) が点滅中にストップスイッチを押し、ストップランプ (赤) とエンジンランプ (赤) を点灯させます。



- 3) アンテナユニットがリモコンからの電波を受信すると、リモコンのエンジンランプ (緑) が点灯しエンジンが停止します。



※ アンテナユニットがリモコンからの電波を受信できなかった場合は、リモコンのエンジンランプ (緑) は点灯しません。(アンサーバック音をメロディまたは、ブザーに選択されている場合は NG 音が鳴ります)

ドアロック／アンロックの操作方法 オプション

本製品のリモコンでドアロック／アンロック作動させることができます。

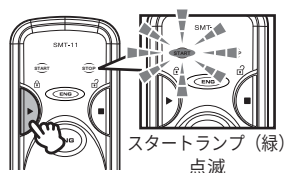
※ 別売オプションを使用して、車両ヘドアロック／アンロックの配線が必要です。(⇒ P38,39)

⚠ 注意

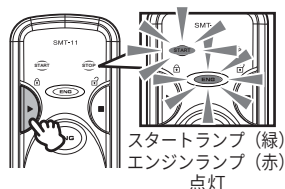
シートベルト警告灯用のコネクタ等、純正の車両コネクタ類は絶対に外さないでください。本製品でのエンジン始動中に、本製品のドアロック機能が正常に作動しなくなります。

ドアをロックする

- 1) スタートスイッチを押し、スタートランプ (緑) を点滅させます。



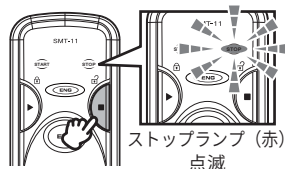
- 2) スタートランプ (緑) が点滅中に再度スタートスイッチを押し、スタートランプ (緑) とエンジンランプ (赤) を点灯させます。



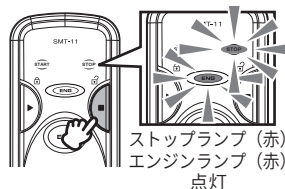
- 3) 車両のドアがロックされ、リモコンのエンジンランプ (緑) が点灯します。

ドアをアンロックする

- 1) ストップスイッチを押し、ストップランプ (赤) を点滅させます。



- 2) ストップランプ (赤) が点滅中に再度ストップスイッチを押し、ストップランプ (赤) とエンジンランプ (赤) を点灯させます。



- 3) 車両のドアがアンロックされ、リモコンのエンジンランプ (緑) が点灯します。

💡お知らせ

スタートスイッチまたはストップスイッチの2秒長押しでもドアロック / ドアアンロックは動作します。

リモコンの使用方法

オートロック機能について オプション

⚠ 注意

オートロックの設定を「設定 1」または「設定 2」の場合、本製品のリモコンでドアをアンロックした時、約 30 秒後に自動でドアをロックします。キーのインロックをしないように、十分に注意してください。

オートロック機能とは、オートロックの設定を「設定 1」または「設定 2」にした場合、本製品のリモコンでドアをアンロックした後、約 30 秒後に自動でドアをロックする機能です。

※ 別売品を使用して、車両ヘドアロック／アンロックの配線が必要です。(⇒ P38,39)

※ 初期設定は OFF に設定されています。



オートロック機能には下記の 3 種類の設定（解除）があります。

設定 1 …… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内に手動でエンジンを始動するか、いずれかのドアを開けるとオートロック機能の作動を解除できます。（別売品 H-904 ドア検出線の接続が必要です）(⇒ P42,43)

設定 2 …… リモコンでドアをアンロックした後に、約 30 秒以内に手動でエンジンを始動するとオートロック機能の作動を解除できます。（ドアを開けてもオートロックは解除できません）

設定 OFF … オートロック機能は作動しません。（初期設定）

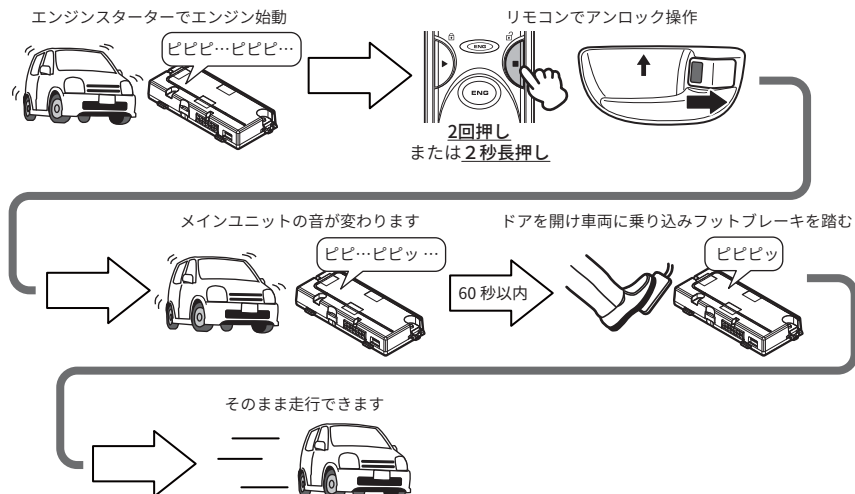
設定方法の詳細は (⇒ P52)

クイックドライブ機能について オプション

クイックドライブ機能とは、本製品によるアイドリング中に、本製品のリモコンでアンロック後、60 秒以内に車両に乗り込みフットブレーキを踏むと、車両のエンジンを停止せずにそのまま走行することが出来る機能です。(⇒ P49)

※ 別売品 H-901 ドアロック配線の接続 (⇒ P38,39) が必要です

※ 初期設定は OFF に設定されています



⚠ 注意

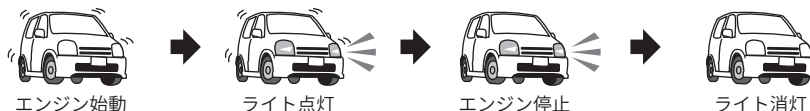
- アンロック後、メインユニットのブザー音が「ビビビ…ビビビ…」から「ビピ…ビピ…」に変化します。
- 60 秒以内にフットブレーキを踏まない場合は、通常動作に復帰します。
- H-901 ドアロック配線が取り付けできない車両は、クイックドライブ機能を使用することはできません。

リモコンの使用方法

オートライトキャンセル機能について **オプション**

- ・オートライトキャンセル機能とは、車両のオートライト機能を ON にした状態でもエンジンの始動を可能にする機能です。
 - ・別売品の H-903 オプション配線を接続 (⇒ P40,41) することで、車両オートライト機能使用時でもエンジン停止時にヘッドライトを消灯することができます。
- ※ 本機能の設定を ON にするだけで、ヘッドライトが点灯した状態でもエンジンを始動することができますが、別売オプションの H-903 オプション配線を接続しないと、エンジン停止時にヘッドライトが消灯しませんので、バッテリーあがりにご注意ください。
- ※ H-903 オプション配線は H-901 ドアロック配線の青色線・桃色線でも代用可能です。
- ※ 初期設定は OFF に設定されています。

■車両のオートライト機能が働いた場合



💡お知らせ

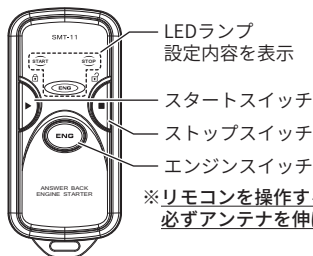
オートライトキャンセル機能使用中はドアを開けてもエンジンが停止しませんので、別売オプション H-904 ドア検出線の取り付けをおすすめします。

また、フットブレーキを踏むとエンジンが停止しますので、車両のプッシュスイッチでエンジンを再始動してください。

各種設定を変更する

リモコン操作で、エンジンスターターを設定を変更することができます。

- ①アイドリング時間設定
- ②オートロック機能
- ③クイックドライブ機能
- ④オートライトキャンセル機能
- ⑤エンジン始動検出設定



※リモコンを操作する時は、必ずアンテナを伸ばしてください。

⚠ 注意

- ・設定操作を行う際は、リモコンとメインユニットが確実に通信できる状態で操作を行ってください。
- ・設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- ・設定登録の操作を行わないと、変更した設定内容は全て無効になります。

設定開始

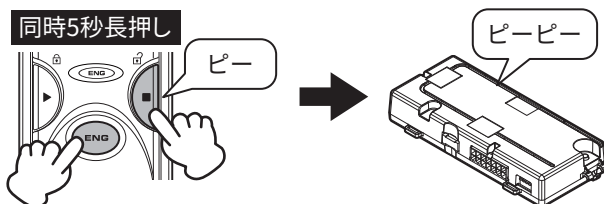
エンジンを停止した状態でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチを同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



設定登録

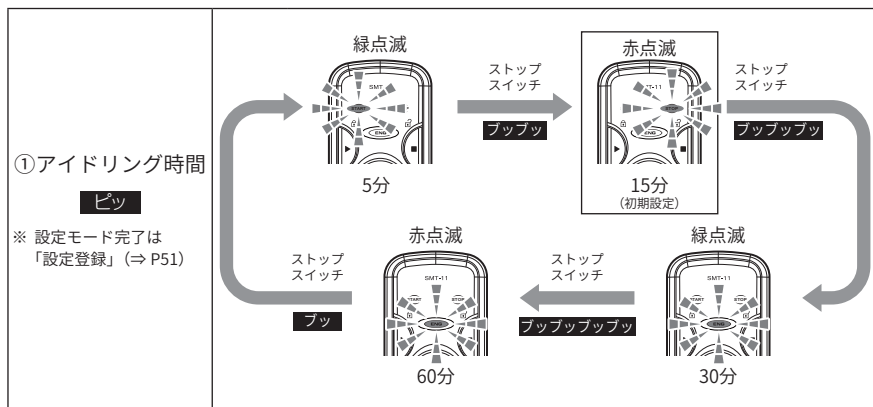
すべての設定が完了したら、リモコンのエンジンスイッチとストップスイッチを同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピー」と鳴り、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

※ 設定登録を行わないと変更が反映されません

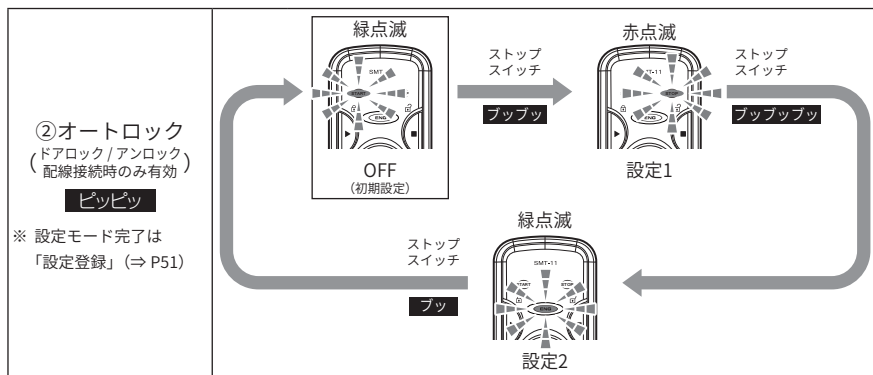


設 定

項目変更	↓	スタートスイッチ 1 回押し
設定変更	→	ストップスイッチ 1 回押し



↓ スタートスイッチ



設定 1・・・ リモコンでアンロック後、約 30 秒以内に手でエンジン始動するか、ドアを開けると、オートロックを解除します。別売品 H-904「ドア検出線」が必要です。(⇒ P42,43)

設定 2・・・ リモコンでアンロック後、約 30 秒以内に手でエンジン始動すると、オートロックを解除します。(ドアを開けても、オートロックは解除できません)

↓ スタートスイッチ

次ページへ

項目変更	↓	スタートスイッチ 1 回押し
設定変更	→	ストップスイッチ 1 回押し

③クイックドライブ
(ドアロック / アンロック
配線接続時のみ有効)

ビッピッピッ

※ 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P51)

※ 機能説明は P49 を参照ください

↓ スタートスイッチ

④オートライト
キャンセル

ビッピッピッピッ

※ 設定モード完了は
「設定登録」(⇒ P51)

※ 機能説明は P50 を参照ください

OFF…… 車両ヘッドライト点灯時はエンジン始動しません

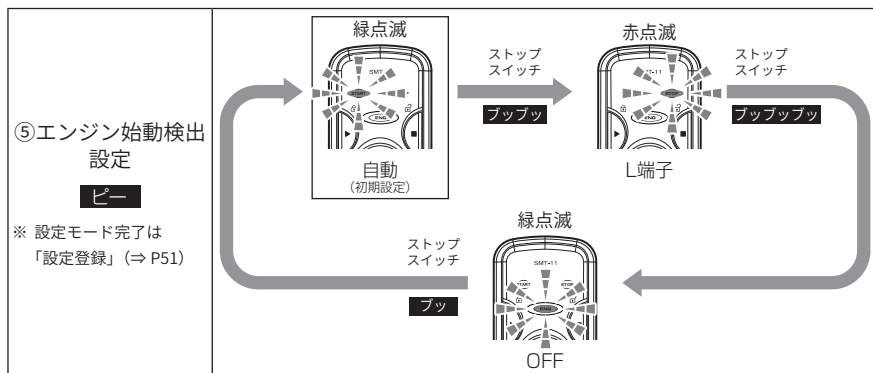
ON…… 車両のオートライト機能を ON にした状態でもエンジンの始動を可能にする機能です。別売品 H-903 オプション配線の接続を行わない場合、エンジン停止時にヘッドライトが点灯したままになりますので、ご注意ください。

↓ スタートスイッチ

次ページへ

設 定

項目変更	↓	スタートスイッチ 1 回押し
設定変更	→	ストップスイッチ 1 回押し



↓ スタートスイッチ

①に戻る

オールリセット (初期化) する

設定モード状態 (⇒ P51) でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチとストップスイッチを同時に 5 秒間長押しすると、メインユニットからブザー音が「ブーブーブー」と鳴り、全ての機能が初期設定になります。

※ エンジンスイッチとストップスイッチで設定登録作業を行う必要はありません。



お知らせ

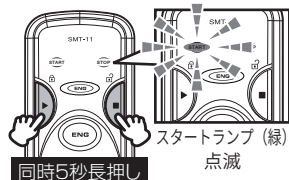
設定操作を行う際は必ず、車内など確実にリモコンとメインユニットが通信できる状態で操作を行ってください。

リモコンの音色と音量を切替える

リモコンの音色を、メロディ / ブザー / 無音の中から選択することができます。また、音量を大・小の2段階から選択できます。
(初期設定は、メロディ / 音量大)

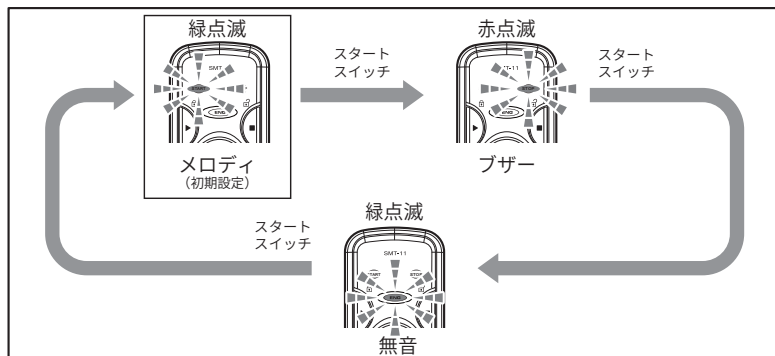
設定方法

- 1) スタートスイッチと、ストップスイッチを
同時に 5 秒長押しします。



- 2) スタートスイッチを押すと音色が変更され、ストップスイッチを押すと音量が変更されます。

■音色 (スタートスイッチで変更)



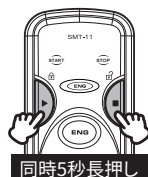
■音量 (ストップスイッチで変更)



- 3) 再度スタートスイッチと、ストップスイッチを同時に 5 秒長押しし、設定を登録します。

※設定登録を行わないと変更が反映されません

※設定モード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。この時設定された内容は全て無効となります。



付録

リモコンの ID コードを再登録する

下記の場合に ID コードを再登録してください。

リモコンを紛失または破損した場合、新しいリモコン（別売）を購入していただき、「ID コード」をメインユニットに再登録することで引き続きご使用いただけます。

⚠ 取り付け時や車両バッテリーを交換・取り外した場合

取り付け時や車両バッテリーを交換・取り外した時は、リモコンの ID コードの再登録を行う前に、必ず初期設定（⇒ P22 ～ 24）を行ってください。

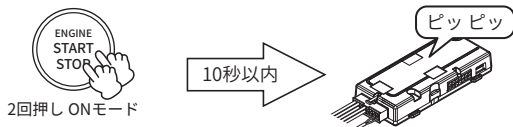
初期設定を行わないと本製品で**エンジン始動できません**。

それでもリモコン操作できない場合は ID コードの再登録を行ってください。

ID コードの再登録方法

※ 全てフットブレーキを踏まない状態で操作してください

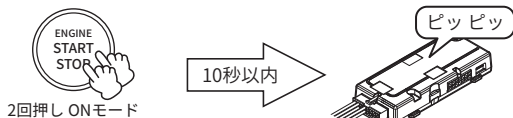
- 1) 純正スマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。**10 秒以内**にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



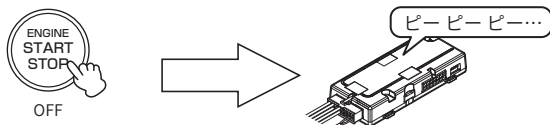
- 2) 1) のブザーが鳴ってから **5 秒以内**に、プッシュスイッチを押し、車両電源を OFF にします。



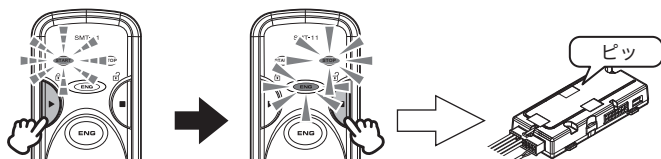
- 3) 車両電源を OFF にしてから **5 秒以内**に、再度プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。**10 秒以内**にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 にプッシュスイッチを押し車両電源を OFF にします。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 60 秒間 鳴ります。



- 5) 4) の ブザーが 60 秒間鳴っている間に、リモコンのスタートスイッチを押し、リモコンのスタートランプ（緑）が点滅している間に、ストップスイッチを押してください。メインユニットからブザー音が「ピッ」と鳴り、再登録が完了します。



※ 指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はプッシュスイッチでエンジン始動後、初めからやり直してください。

お知らせ

ID コードとは

- ・リモコンにはそれぞれ重複しないように「ID コード」が設定されておりメインユニットの「ID コード」と一致しなければ、エンジンを始動させる事ができないようになっています。
- ・必ずリモコン、メインユニットが全て同一モデルになっていないと ID コードの登録はできません。

リモコンの ID コードを追加登録する

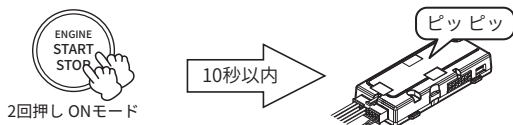
付属のリモコン以外にもう 1 つリモコンを追加して 2 つのリモコンでエンジンスターターの操作ができるようになります。

- ※ メインユニットとリモコンが同一の製品のみ追加登録できます
- ※ 別途追加購入したリモコンのみ登録します

ID コードの追加登録方法

※ 全て フットブレーキを踏まない状態 で操作してください

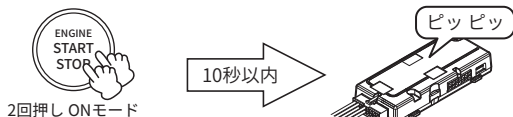
- 1) 純正スマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。10 秒以内 にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



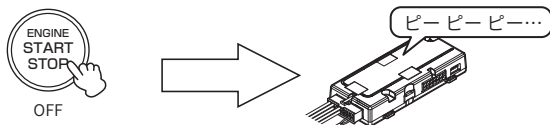
- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 に、プッシュスイッチを押し、車両電源を OFF にします。



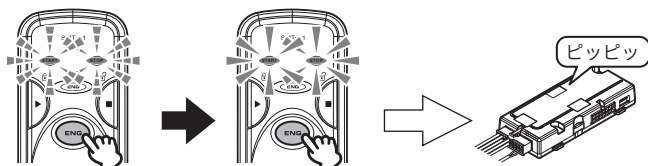
- 3) 車両電源を OFF にしてから 5 秒以内 に、再度プッシュスイッチを 2 回押し、ON モードにします。10 秒以内 にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5 秒以内 にプッシュスイッチを押し車両電源を OFF にします。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 60 秒間 鳴ります。



- 5) 4) のブザーが 60 秒間 鳴っている間に、リモコンのエンジンスイッチを押し、リモコンのスタートランプ（緑）とストップランプ（赤）が点滅している間に、再度エンジンスイッチを押してください。メインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、追加登録が完了します。



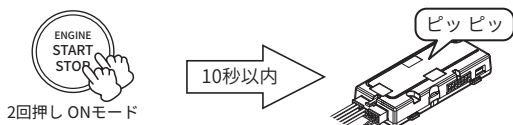
※ 指定した時間を経過した場合、または順番を間違えた場合はプッシュスイッチでエンジン始動後、初めからやり直してください。

イモビ通信ユニットの取付位置を再設定する

イモビ通信ユニットの取付位置を変更した際や、「イモビ解除エラー」のブザー音が鳴り、リモコンでエンジン始動ができない場合、イモビ通信ユニットの取付位置の再設定を行ってください。

取付位置の再設定方法

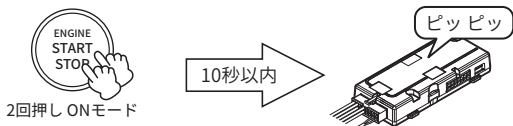
- 1) 純正スマートキーを車内に持ち込み、プッシュスイッチを2回押し、ONモードにします。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



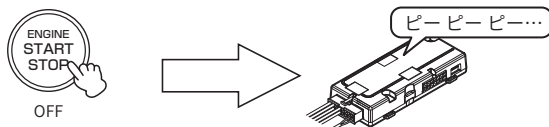
- 2) 1) のブザーが鳴ってから 5秒以内に、プッシュスイッチを押し、車両電源を OFF にします。



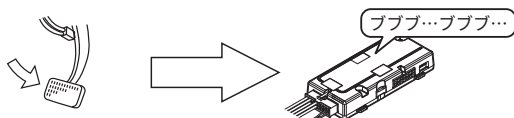
- 3) 車両電源を OFF にしてから 5秒以内に、再度プッシュスイッチを2回押し、ONモードにします。10秒以内にメインユニットからブザー音が「ピッピッ」と鳴ります。



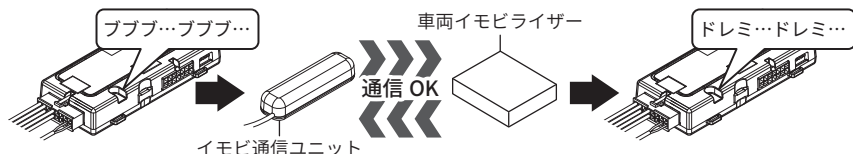
- 4) 3) のブザーが鳴ってから 5秒以内にプッシュスイッチを押し車両電源を OFF にします。メインユニットからブザー音が「ピーピーピー…」と 60秒間鳴ります。



- 5) フットブレーキを踏むと、メインユニットからブザー音が「ブブブ…ブブブ…」と鳴ります。



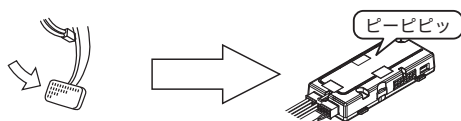
- 6) イモビ通信ユニットを車両イモビライザーと正常に通信が行える範囲に移動し、メインユニットのブザー音が「ブブブ…ブブブ…」が「ドレミ…ドレミ…」と切替わることを確認し、固定します。



お知らせ

一部車両で一定時間経過することでイモビライザーの電波が停止する車両があります。その際は、車両ドアの開閉を行うことで再度イモビライザーの電波が発信を始めるため、弊社車種別接続資料で指定の位置にイモビ通信ユニットを置いてもブザー音が「ドレミ…ドレミ…」に切替わらない場合、はドアの開閉をお試しください。

- 7) イモビ通信ユニットを固定後、フットブレーキを踏むと「ピーピーッ」とブザー音が鳴り、取付位置が再設定されます。



通信周波数切替方法について

※ 通常は通信周波数を変更する必要はありません

混信・妨害電波・同周波数帯の電波状況などにより、通信ができなかったり、アンサーバックがリモコンに戻ってこない等、通信が安定しない場合は下記操作を行い、通信周波数チャンネルを任意で切替えることによって本製品をより安定した電波環境で使用できます。

⚠ 注意

- ・メインユニットとの通信ができない場所では本設定は正常に行えません。必ず車内等確実にリモコンとメインユニットが通信できる状態で操作を行ってください。
- ・周波数切替えモード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「プー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- ・通常は通信周波数を変更する必要はありません。

通信周波数を変更する

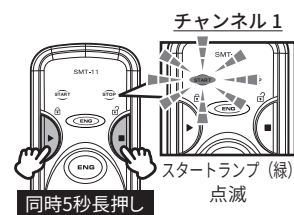
例) 通信周波数をチャンネル 1 からチャンネル 2 へ変更する場合

(チャンネル 2 からチャンネル 1 の変更も同様)

- 1) エンジンを停止し、車両電源を OFF にした状態でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチを**同時に 5 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。

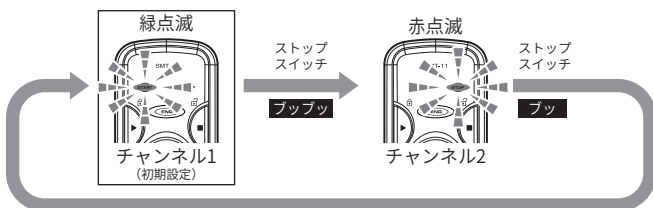


- 2) スタートスイッチとストップスイッチを**同時に 5 秒間長押し**すると、リモコンからブザー音が「ピーピー」と鳴り周波数切替えモードに入り、リモコンの LED が現在の設定で点滅します。

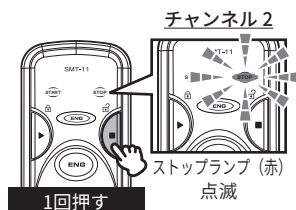


例) チャンネル 1 の場合、スタートランプ (緑) 点滅

■ 設定内容



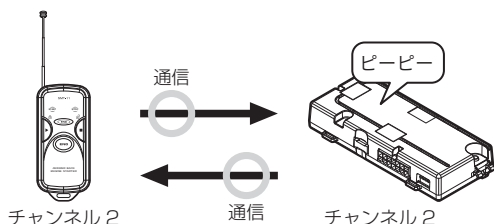
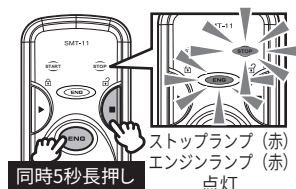
- 3) ストップスイッチを1度押し、チャンネル2
『CH 2』に切替えます。



- 4) リモコンのエンジンスイッチとストップスイッチを**同時に5秒間長押し**すると、メインユニットからブザー音が「ピーピー」と鳴り、設定が登録されます。

※ 設定の最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

※ この時、リモコンとメインユニットが通信できない場合は (⇒ P64) へ



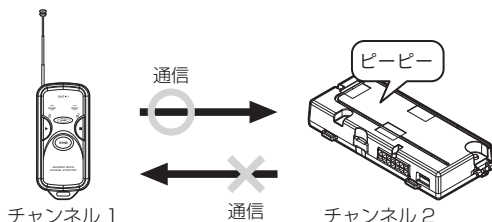
- 5) リモコンのエンジンランプ (緑) が点灯し、アンサーバック OK 音が返ってくれば設定完了です。

※ この時リモコンへのアンサーバックが NG の場合は (⇒ P64) へ



アンサーバックが NG の場合

リモコンへのアンサーバックが NG 音となり、メインユニットのみチャンネル 2 へ変更され、リモコン側はチャンネル 1 のまま変更されていないときは、リモコンのみ周波数切替を行う必要があります。



※ 通信周波数切替方法の設定で設定登録後リモコンへのアンサーバックが NG になってしまった場合にリモコン単体のみ周波数切替を行います。

⚠ 注意

- メインユニット側がチャンネル 2、リモコン側がチャンネル 1 と相違しているためリモコンとメインユニットとの通信が一切行えません。
- 必ずリモコンとメインユニット側のチャンネルを合わせてください。

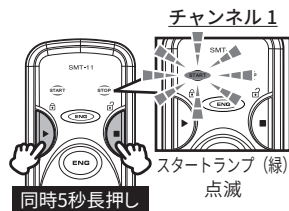
- 1) エンジンを停止し、車両電源を OFF にした状態でリモコンのエンジンスイッチとスタートスイッチを同時に 5 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッ」と鳴り、設定モードに入ります。



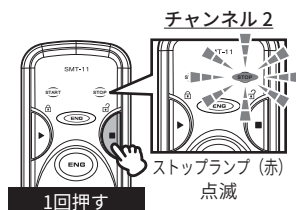
⚠ 注意

- 周波数切替えモード開始から 30 秒間リモコンで操作を行わないと、リモコンからブザー音が「ブー」と鳴って設定モードが終了します。なお、この時に変更した設定内容は全て無効になります。
- 通常は通信周波数を変更する必要はありません。

- 2) スタートスイッチとストップスイッチを同時に 5 秒間長押しすると、周波数切替えモードに入り、リモコンの LED が現在の設定で点滅します。



- 3) ストップスイッチを1度押し、チャンネル2『CH 2』に切替えます。

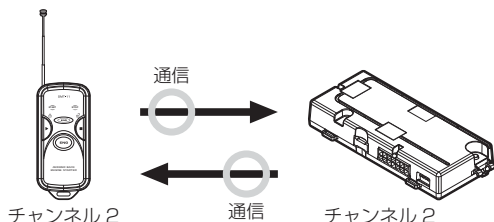


- 4) リモコンのスタートスイッチとストップスイッチを同時に 10 秒間長押しすると、リモコンからブザー音が「ピッピッ」と鳴り、リモコン単体の設定が『チャンネル 2』に変更されます。



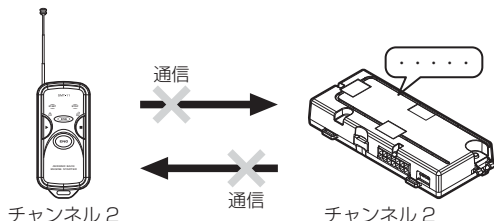
※最後に必ず設定登録を行わないと設定されません。

- 5) リモコンとメインユニットが両方とも『チャンネル 2』同士となり、通信が可能になれば設定完了です。



リモコンとメインユニットが通信できない場合

- ・周囲の電波状況等によりリモコンとメインユニットの間で通信ができず、メインユニットから「ピーピー」と鳴らないときは、車両を移動する等、通信が行える場所へ移動し再度設定を行ってください。(⇒ P62)
- ・リモコンのみチャンネルが変わっていることが考えられます。リモコン単体の通信周波数切替方法によりリモコンとメインユニットのチャンネルを同一にする必要があります。(⇒ P64)



故障かな？と思ったら

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない	・本製品に適合した車両ですか？	・適合車両以外取り付けできません。	—
	・車種別ハーネスは確実に接続されていますか？	・ハーネスのすべての配線を確実に車両へ接続してください。	P19,20
	・アース端子は接続されていますか？	・アース端子をボディアースへ確実に接続してください。	P20
	・常時電源線に付いているヒューズ (10A) が切れていませんか？	・車両接続ハーネス等配線のショートが考えられます。配線を再確認後、市販のヒューズ (10A) 交換をしてください。	P16
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る	・イモビ解除エラーのブザー音が鳴っていますか？	・イモビ通信ユニットの取付位置の再設定を行ってください。	P60,61
	・リモコンと純正スマートキーが3cm以上離れていませんか？	・純正スマートキーの3cm以内でリモコン操作を行ってください。	P12
	・車内で「ブブブ…ブブブ…」とブザー音が鳴っていませんか？	・イモビ通信ユニットの取付位置の設定を行ってください。	P22,23
	・車内で「ピロリ…ピロリ…」とブザー音が鳴っていませんか？	・各配線の接続確認操作を行ってください。	P23,24
	・車両接続ハーネスは確実に接続されていますか？	・ハーネスのすべての配線を確実に車両へ接続してください。	P19,20
	・バッテリー交換後、初期設定を行いましたか？	・バッテリーを外した場合は、必ず、初期設定を行ってください。	P22～24
	・初期設定は全て終了し、ブザー音の確認もできましたか？	・初期設定を行ない、IDコードの再登録を行ってください。初期設定を行わないと本機は動作しません。	P22～24, P56,57
	・動作不良エラーのブザー音が鳴りますか？	・動作不良エラー確認表を参照し、初期設定および動作確認を行ってください。	P22～24
	・車両ストップランプは点灯しますか？	・車両ストップランプのヒューズが切れている可能性があります。ヒューズを確認してください。	—
	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子が、確実にアースポイントに接続されているかを確認してください。	P20
	・スイッチイルミネーションが点灯したままではありませんか？	・一部車両でオプションH-904ドア検出線が必要になります。	P42
	・リモコンでエンジン始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・「機能設定」を参照しながら、アイドリング時間を変更し、設定登録をしてください。	P52
	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子が、確実にアースポイントに接続されているかを確認してください。	P20

症状	確認内容	対処方法	参照ページ
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・リモコンのアンテナは伸ばしてありますか？	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。	P14
	・リモコンを手等で包みこんでいませんか？	・リモコンを正しく操作してください。	P14
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか？（金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等）	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 ※ 電気の流れる材質は、電波を通しにくいです。	P14
	・リモコンの電池電圧が低下していませんか？	・電池を2個とも新しいものに交換してください。	P13
	・アンテナユニットの端子がメインユニットから抜けていませんか？	・アンテナユニットの端子をメインユニットに確実に接続してください。	P25
	・アンテナユニットのアンテナが立っていますか？	・アンテナを立てて使用してください。	P25
	・アンテナユニットがピラーから10cm以内に設置されていませんか？	・アンテナユニットをピラーから10cm以上離して設置してください。	P25
リモコンでドアロック/アンロックができない。	・ドアロック配線/アンロック配線の接続箇所は間違っていますか？	・接続箇所を確認してください。	P38,39
	・運転席側のシートベルト警告コネクタが外れていませんか？	・シートベルト警告コネクタが外れている場合は確実に接続してください。	P38
リモコンの操作スイッチを押してもLEDが点灯しない。	・電池が消耗していませんか？	・電池を2個とも新しいものに交換してください。	P13
	・電池の向きが正しくセットされていますか？	・向きを確認し、正しくセットしてください。	P13
使用中にメインユニットから接続確認メロディ音が鳴る。	・アース端子は確実に接続されていますか？	・アース端子を別の場所へ取り直してください。	P14
その他	・動作が不安定。	・アース端子を別の場所へ取り直してください。	P14

付録

アフターサービスについて

取り付けには専門知識が必要です。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。お客様ご自身での取り付けサポートは行っていません。また、お客様ご自身で取り付けられた場合は保証が受けられません。

保証書

- ・保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- ・保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものやコピーした保証書、インターネットオークション等で個人売買された物は保証対象外とさせていただきます。

保証期間

ご購入日より3年間です。(リモコンは1年間。ただし、電池などの消耗部品は除く)

修理を依頼されるとき

「初期設定」(⇒P22～24)と「故障かな?と思ったら」(⇒P66～67)を参照し点検をしていただいても、なお症状が改善されない場合は、販売店へご相談いただき故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

- ・保証期間内の場合
恐れ入りますが、取り付け販売店に保証書をそえて、製品をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。
- ・保証期間が経過している場合
取り付け販売店にまずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。
- ・本製品の故障による代替品の貸出しは弊社では一切行っておりません。
- ・本製品を修理のため、お送り頂く場合の送料および取り付け・取り外し等にかかる全ての費用は、保証に含まれておりません。送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。あらかじめご了承ください。

アフターサービスおよび同梱品の追加購入について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

リモコンを紛失または破損

- ・リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。
- ・新しいリモコン(オープン価格)を購入された場合は、「IDコードの再登録」をご覧ください、IDコードの再登録を行ってください。(⇒P56,57)

本書にしたがって、正常な取り付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取り付け・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の補償については、弊社は一切の責任を負いかねます、あらかじめご了承ください。

製品仕様

リモコン

技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	920MHz 帯
送信出力	10mW
受信周波数	920MHz 帯
動作温度範囲	− 10°C〜+ 60°C
使用電池	リチウム電池 CR2032 × 2
ケース寸法	34 (W) × 70 (H) × 15.6 (D) mm (アンテナ部、突起部除く)
重量	33g (電池含む)

アンテナユニット

動作温度範囲	− 20°C〜+ 70°C
ケース寸法	25 (W) × 75 (H) × 12.5 (D) mm (アンテナ部、突起部除く)
重量	17g (ケーブル除く)

メインユニット

技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備
送信周波数	920MHz 帯 / 310MHz 帯
送信出力	10mW / 250 μ W 以下
受信周波数	920MHz 帯
電源電圧	12V 車専用 (DC8V ~ 16V)
消費電流	待機時: 約 10mA 以下 (平均)
動作温度範囲	− 20°C〜+ 70°C
寸法	55 (W) × 129 (H) × 22.3 (D) mm (突起部除く)
重量	94g

[illegible]

保証書

保証期間

ご購入日より3年間

対象部分

メインユニット、アンテナユニット（リモコンはご購入日より1年間）

※電池などの消耗部品は除く

保証規定（必ずお読みください）

1. 保証の内容

取扱説明書の内容に従った使用方法で不具合が発生した場合、本保証書に示す保証期間と条件にしたがって無償で修理いたします。無償修理は、部品の交換により行います。
なお、修理のために取りはずした不具合部品は、弊社の所有となります。

2. 保証修理の受け方

無償修理をお受けになる場合、お買い上げの販売店に本製品と保証書を提示のうえ、修理をご依頼ください。本製品並びに保証書を提示されない場合は、無償修理をいたしかねますのでご了承ください。
なお、販売店がこの保証書にご購入日の証明をされていない場合は、お客様のご購入日を確認できる書類（レシートなど）を添付してください。

本製品を修理のため、お送りいただく場合の送料および取り付け・取り外し等にかかる全ての費用は、お客様のご負担になります。送料着払いにて発送された場合、弊社からお客様に着払いにて返送させていただきます。

3. 保証しない事項

保証期間内でも次の場合は有料となります。

- (1) 指定以外の車両、および浸水や高温による破損の恐れがある場所でご使用になった場合。
- (2) 取扱説明書で示す取扱いと異なるご使用上の誤りおよびお客様による保守、整備での故障または破損。
- (3) 構成部品の変更や改造をされた場合。（車種別ハーネス含む）
- (4) 業務用の長時間使用など一般車両以外に使用された場合の故障または、損傷。
- (5) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧、異物混入等による故障または損傷。

(6) 本保証書に必要事項の記入がない場合、または記入事項が書き換えられた場合。

(7) 電池切れによる電池、送信機の交換。

(8) 内部基板への水分等の侵入による故障。

2) 次に示すものの費用は負担いたしません。

(1) 商品を使用できなかったことによる不便さおよび損失。

(2) 消耗部品（電池や両面テープなどの保証対象部分以外の付属品）

(3) 本製品の使用・故障・修理に伴う二次的損害に対する補償。

4. 保証の発効

保証書に必要事項を記入、捺印することにより有効となります。

本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

5. 保証の適用

本書は日本国内で使用されている場合のみに適用いたします。

This warranty is valid only in JAPAN

6. その他

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて保証修理をお約束するものです。

この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）および、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

おわかりにならない点は、販売店にお問い合わせください。

保証期間経過後の修理については有償修理となります。販売店にご相談ください。

保証書

コピー不可

本書は保証規定（裏面参照）に明示した条件のもと、無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間中に、正常なご使用状態で万一故障が発生した場合には、本書をご提示のうえ、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。

品 番	SMT-11	シリアル No.			
お買上げ 年 月 日	お買上げ日 西暦 年 月 日				
保証期間	お買上げ日から 3 年				
対象部分	メインユニット、アンテナユニット (リモコンはご購入日より 1 年間。電池などの消耗部品は除く)				
お客様	お名前 様		店名・住所・電話・捺印		
	ご住所 〒		★ 販 店 印		
	電話番号 ()				
お取付車両	メーカー名	車 名	年 式	型 式	グレード
故障内容					

※保証書に販売店名、購入年月日を証明するものが無いものは保証対象外とさせていただきます。またお送り頂く際の送料は保証に含まれていません。予めご了承ください。

お問い合わせ

製品のお取扱方法、修理等に関するご相談は、お買上げ頂いた販売店または下記お客様ご相談窓口へお問い合わせください。

ただし、お客様ご自身の取付作業に対するサポートは行っておりせん。

 **0120-39-1585**

受付時間 10:00～12:00／13:00～18:00

(土・日・祝祭日・年末年始など当社指定日を除く)

※携帯電話やPHS、公衆電話、050から始まるIP電話からはご利用いただけません。また、一部の光電話からもご利用いただけない場合があります。その際は下記番号よりおかけください。

03-5767-7850 (有料)

株式会社 **キャム**

〒143-0006 東京都大田区平和島 1-2-30

HP: <http://www.car-acc-mfg.co.jp>